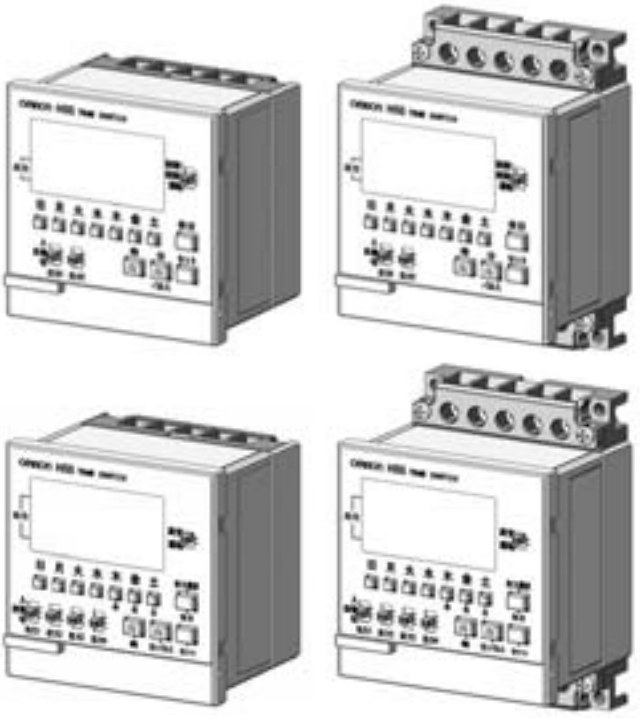
OMRON

形 **H5S**

デジタル・タイムスイッチ

取扱説明書

オムロン製品をお買いあげいただきありがとうございます。この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をお読みになり、十分にご理解してください。お読みになった後も、いつも手元に置いてご使用ください。



■安全上のご注意 ・・・・・・ P.1

■目次 ・・・・・・ P.5

■操作編 ・・・・・・ P.9

■設置編 ・・・・・・ P.60

オムロン株式会社

0970017-4D

© All Rights Reserved.

ご使用に際してのご承諾事項

「ご使用に際してのご承諾事項」について
下記用途に使用される場合、当社営業担当者までご相談のうえ仕様書などによりご確認いただくとともに、定格・性能に対し余裕を持った使い方や、万一故障があっても危険を最小にする安全回路などの安全対策を講じてください。

a)屋外の用途、潜在的な化学的汚染あるいは電気的妨害を被る用途またはカタログ、取扱説明書等に記載のない条件や環境での使用
b)原子力制御設備、焼却設備、鉄道・航空・車両設備、医用機械、娯楽機械、安全装置、および行政機関や個別業界の規制に従う設備
c)人命や財産に危険が及びうるシステム・機械・装置
d)ガス、水道、電気の供給システムや24時間連続運転システムなど高い信頼性が必要な設備
e)その他、上記a）～d）に準ずる、高度な安全性が必要とされる用途

*上記は適合用途の条件の一部です。当社のベスト、総合カタログ、データシート等最新版のカタログ、マニュアルに記載の保証・免責事項の内容をよく読んでご使用ください。

安 全 上 の ご 注 意

●安全にご使用していただくための表示と意味について

この取扱説明書では、タイムスイッチを安全にご使用いただくために、注意事項を次のような表示と記号で示しています。ここで示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載しています。必ず守ってください。

⚠注意	誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性が想定される場合および、物的損害の発生が想定される場合を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

● 図記号の説明

	●感電注意 特定の条件において、感電の可能性がある場合を示します。
	●禁止表示の一般 特定しない一般的な禁止を示します。
	●分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止を示します。
	●強制表示の一般 特定しない一般的な使用者への強制行為を示します。
	●破裂注意 特定の条件において、破裂の可能性を注意する通告に用います。

● 警告表示

⚠注意	
感電により軽度の傷害が稀に起こる恐れがあります。通電中は端子に触らないでください。また、配線後、必ず端子カバーを取り付けてください。 また表面取付タイプをご使用の場合で製品を露出取付される場合は、電気用品安全法上、必ず別売部品の端子カバー（形式Y92A-72H）をご使用ください。	
爆発により稀に軽度の傷害の恐れがあります。引火性、爆発性ガスのある所では使用しないでください。	
軽度の感電、発火、機器の故障が稀に起こる恐れがあります。分解、改造、修理したり、内部に触らないでください。	
発火が稀に起こる恐れがあります。端子ネジは規定トルク（0.98～1.17N•m）で締めてください。	
意図しない動作が稀に起こる恐れがあります。通電中に各時刻や各種設定を変更する場合は、必ず負荷側の電源を切るか、出力「入」「切」スイッチを「切」にして安全を充分確認した上で行なってください。	
軽度の感電、発火、機器の故障が稀に起こる恐れがあります。製品の中に金属、導線または、取り付け加工中の切粉などが入らないようにしてください。	
寿命を超えた状態で使用すると接点溶着や焼損が稀に起こる恐れがあります。必ず実使用条件を考慮し、定格負荷、電気的寿命回数内でご使用ください。出力リレーの寿命は、開閉容量、開閉条件により大きく異なります。	
電池の破裂、発火、液もれにより重度の傷害が稀に起こる恐れがあります。＋－の短絡、充電、分解、加圧変形、火への投入などは絶対にしないでください。	

安全上の要点

以下に示すような項目は安全を確保する上で必要なことですので
必ず守ってください。

(1)本機の取付電気工事は、必ず有資格者（電気工事士）が行なってください。
(2)保存は、記載された定格範囲内としてください。
　また、－10℃以下で保存後、使用する場合は、常温に3時間以上放置してから通電してください。
(3)密着取り付けをすると内部部品の寿命が短くなる恐れがあります。
(4)使用周囲温度や使用周囲湿度については、記載された定格範囲内でご使用ください。
(5)下記環境下での使用は避けてください。
　・温度変化の激しいところ。
　・湿度が高く結露が生じる恐れのあるところ
(6)本製品は防水、防油構造ではありません。水がかかるところ、被油のあるところでは使用しないでください。
(7)粉塵の多い場所、腐食ガスの発生する場所、直射日光の当たる場所での使用は避けてください。
(8)多量の静電気が発生する環境（成形材料、粉、流体材料をパイプ搬送する場合など）でご使用の場合は静電気発生源を製品本体より離してください。
(9)電源電圧の変動範囲は、許容範囲内としてください。
(10)定格以外の電圧を印加しますと、内部素子が破壊する恐れがあります。
(11)端子の極性は、誤配線のないようにしてください。
(12)ノイズ発生源、ノイズがのった強電線から入力信号源の機器、入力信号線の配線、および製品本体を離してください。
(13)圧着端子を使用する場合は1つの端子に2個までとしてください。
(14)配線は1端子あたり2本までは締め付けられますが、その場合、2本は同じ線種で使用してください。
(15)配線に使用する適用電線は記載された適切なものを使用してください。
　適用電線 AWG22～14（断面積0.326～2.081mm^2）
　単線、より線
　銅
(16)作業者がすぐ電源をOFFできるよう、スイッチまたはサーキットブレーカを設置し、適切に表示してください。

(17)電源側には「電気設備に関する技術基準」「労働安全衛生規則」などの関連法規に従って、保護装置（漏電遮断器、配線用遮断機、ヒューズなど）を設定してください。
(18)ヒータ等を使用する場合は、必ず負荷回路にサーモ・スイッチをご使用ください。
(19)負荷電流は、必ず定格以下でご使用ください。
(20)電源電圧は0.1秒以内に定格電圧に達するようにスイッチ、リレーなどの接点を介して一気に印加してください。 徐々に電圧を印加しますと、電源リセットしなかったり出力の誤動作が発生することがあります。
(21)電源遮断時はスイッチ、リレーなどの接点を介して一気に行ってください。徐々に電圧を低下させますと、出力の誤動作やメモリ異常が発生することがあります。
(22)本製品は電源トランスレス方式になっていますので、電源電圧印加状態で入力端子に触れますと感電することがありますから十分ご注意ください。
(23)振動・衝撃については、記載された定格範囲内でご使用ください。
(24)電源電圧入力において、AC入力タイプは商用電源をご使用ください。
インバータによっては出力仕様として、出力周波数を50/60Hzと表示されているものもありますが、製品の内部温度上昇により発煙・焼損の恐れがありますので、インバータの出力を電源として使用しないでください。
(25)高温中に長時間、出力電流を流した状態で放置されますと、内部部品（電解コンデンサ等）の劣化を早める恐れがありますので避けてください。
(26)本体の外装は有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）強アルカリ性、強酸物質に侵されますので使用しないでください。
(27)電池を含めてお客様で交換できる部品はありません。
(28)オプションの大型端子カバー形 Y92A-72Hの配線引き出し部の加工はラジオペンチなどの工具を使用してください。 直接手で加工しますと加工部でけがをする恐れがあります。

使用上の注意

(1)電源投入時に短時間ですが突入電流が流れ（AC仕様：約2.5A（0.3ms）、DC仕様：約1.1A（3ms））、電源の容量によっては起動しない事がありますので、充分な容量の電源をご使用ください。
(2)電源ON/OFF時の突入電流によって電源回路上の接点の劣化が考えられますので、定格10A以上の機器での開閉をおすすめします。
(3)電池で時計機能や設定プログラムをバックアップしています。電池の寿命がくると表示がおかしくなったり、動作しなくなったりします。
この場合、お客様での電池交換はできませんので販売店にご相談ください。

「廃電池請回収」

本製品には電池が内蔵されています。
廃棄する場合は地方自治体の条例または規則等に従ってください。

目　次

ご使用に際してのご承諾事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
警告表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
安全上の要点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3.4
使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5.6
★どのような時刻制御をご希望ですか？・・・・・・・・・・・・ 7.8

操　作　編

1. 機能一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
2. 各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10.11.12
3. 時刻の合わせ方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13.14
4. 基本的な使い方
　4-1. 普通のタイマ動作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15.16
　4-2. 日を渡るタイマ動作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17.18
　4-3. パルス動作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19.20
　4-4. 繰り返し（サイクル）動作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21.22
　4-5. 4chタイプのプログラム方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
　4-6. 年間プログラムについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
　4-7. 年間のタイマ動作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24.25.26
　4-8. 年間のパルス動作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27.28
　4-9. プログラムの消去 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29.30
5. 便利な使い方
　5-1. 休日の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31～34
　5-2. プログラムのテスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
　5-3. プログラムの確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
　5-4. 動作曜日のコピー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37.38
　5-5. サマータイム（手動切替）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
　5-6. 12/24h表示の切替・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
　5-7. 画面表示切替・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
　5-8. 半自動出力動作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41.42

6. 応用機能の使い方
6-1. 積算時間/回数表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
6-2. 時刻合わせ入力機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
6-3. 停電手動復帰 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
6-4. バンク切替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
6-5. シーズン切替・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
6-6. 初期設定モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
6-6-1. F1:次動作表示切替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
6-6-2. F2:入力切替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49
6-6-3. F3:積算時間警報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
6-6-4. F4:積算回数警報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
6-6-5. F5:月日表示切替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52
6-6-6. F6:サマータイム切替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
6-6-7. F7:サマータイムエリア切替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・54
6-6-8. F8:シーズン切替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
6-6-9. F9:シーズン期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
7. 電源OFF時設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
8. 本体のリセット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
9. 時計精度について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
10. 表示キャラクタについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
11.トラブルシューティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・59

設 置 編

1.寸法図と取付寸法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60～62
2.接続部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
3.配線方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64.65
4.定格・性能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・66
5.出力（内蔵リレー）の寿命について ・・・・・・・・・・・・・・・67
6.ＥＮ／ＩＥＣ規格について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・67
7.アクセサリ、補修部品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・68
8.設定内容の記録（メモ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・69.70

★どのような時刻制御をご希望ですか?

形H5Sは、さまざまな時刻制御に簡単操作でお応えします。

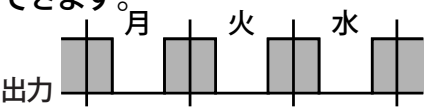
決まった時刻に出力を ON／OFFさせたい...

「○時～○時までの間に運転させたい」
「○時～○時まで照明をつけたい」
等の場合はタイマ動作がお薦めです。

☞4-1項

ON時刻とOFF時刻が日を またがった設定をしたい。

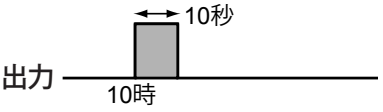
「夜の22時から朝8時まで運転させたい」
「月曜の10時から金曜の17時までずっと出力を出したい」等、日渡り制御も簡単にできます。



☞4-2項

短い時間でよいので パルス出力が欲しい...

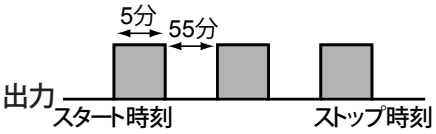
「予熱のために機械を立ち上げておきたいのでONパルスが欲しい」
「チャイム、時報を鳴らしたい」
等の場合はパルス動作がお薦めです。



☞4-3項

ON／OFFの同じ動きを 繰り返して欲しい...

「朝9時から夕方17時までの間、1時間に5分だけ水をまきたい」等、繰り返しの場合はサイクル動作がお薦めです。



☞4-4項

季節によってプログラムを自動で 切り替えたい。

夏/冬でプログラムを自動で切り替える事ができるシーズン切替機能が便利です。(年間式)
手動でプログラムを切り替えられるバンク機能もあります。(週間式)

☞6-4,6-5項

月日指定で特別なプログラムを 追加したい。

「週間プログラムで、日曜日は非動作にしているが、○月○日(日)はある動作をさせたい」といった場合に追加対応ができます。

☞4-6項

※　機能詳細、その他の機能などは本編をご参照ください。

形H5Sは、こんな便利な機能もあります。

祝日や急なお休みの日には出力は出したくないなぁ…

「次の水曜日だけ」とか「今年のお盆休みの8月13日～8月15日だけ」を一時的に休日にできる休日機能が便利です。

（週間式…曜日指定
年間式…（年）月日指定

☞5-1項

負荷のON時間、回数をモニターして、メンテナンスで役立てたい。

積算時間/回数表示機能（警報値設定付）を内蔵しています（4chタイプは除く）。
ランプ、モーター等寿命がある様な負荷の寿命予防保全に便利です。

☞6-1項

今から一週間先までのプログラムを簡単に確認したいんだけど…

出力が実際にON, OFFする曜日と時刻を動作時刻順に1週間分連続して表示するテストモードが便利です。

☞5-2項

水曜日のプログラムだけを簡単に確認したいんだけど…

任意の曜日のプログラムが確認できる確認モードが便利です。

☞5-3項

タイムスイッチを複数並べるが、時刻のズレが気になる…

外部入力を入れる事で、正時に合わせる事ができます（4chタイプは除く）。
また、複数台並べて使用する場合は、お互いに時刻の同期をとることもできます。

☞6-2項

サマータイムが適用されているエリアで使いたいのだけど…

ボタンひとつで簡単にサマータイム（+1h）に切替できます。また年間式は自動切替もできます。

☞6-6-6項

- ●12⇔24h表示切替 ☞ 5-6項
- ●画面表示切替 ☞ 5-7項
- ●半自動出力動作 ☞ 5-8項
- ●コピー機能 ☞ 5-4項
- ●次動作表示切替 ☞ 6-6-1項
- ●月日表示順番の切替 ☞ 6-6-5項
- ●停電時手動復帰機能 ☞ 6-3項

※　機能詳細、その他の機能などは本編をご参照ください。

操 作 編

1. 機能一覧

週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch

デジタルタイムスイッチ形H5Sは、大きく3つのシリーズがあり、シリーズ別の主な機能一覧は下表のとおりです。
ご購入の形式により搭載している機能が異なりますので、形式とマークを確認の上、取扱説明書をお読みください。

		掲載項	週間 2ch	年間 2ch	年間 4ch
			H5S-WA2(D) H5S-WFA2(D)	H5S-YA2(D)-X H5S-YFA2(D)-X	H5S-YA4(D)-X H5S-YFA4(D)-X
週間動作	タイマ動作	4-1,4-2	○	○	
	パルス動作	4-3	○	○	
	サイクル動作	4-4	○	○	
年間動作	タイマ動作	4-7	×	○(※)	
	パルス動作	4-8	×	○(※)	
休日設定		5-1	○(曜日指定)	○(年月日指定)	
コピー(振替)機能		5-4	○(曜日指定)	×	
プログラムのテスト		5-2	○		
プログラムの確認		5-3	○		
半自動出力動作		5-8	○		
サマータイム切替		5-5,6-6-6	○(手動のみ)	○(手動/自動)	
停電復帰時出力		6-3	自動/手動切替可		自動のみ
時刻合せ入力機能		6-2	○		×
入力積算表示機能		6-1	○		×
バンク機能		6-4	○	×	
シーズン設定		6-5	×	○	
電源OFF時設定		7	○		

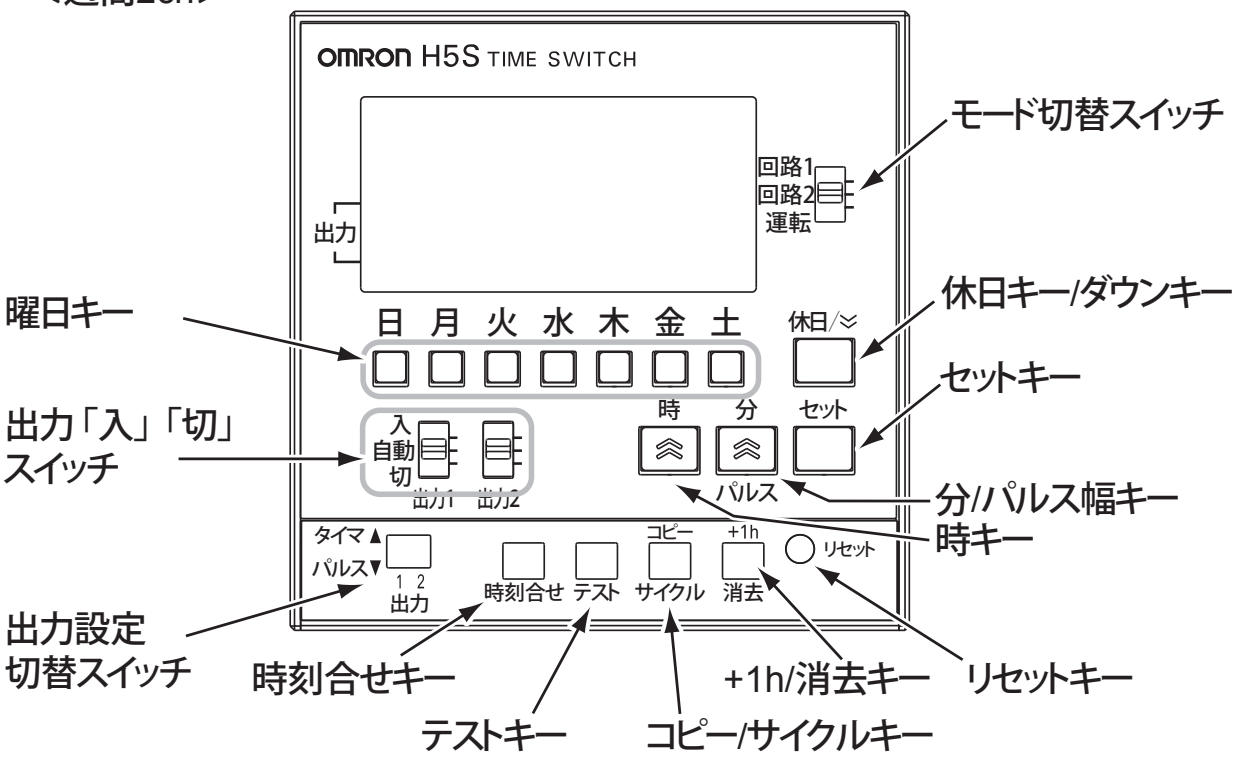
※　週間動作の上に年間動作が追加されます。
詳細は「4-6 年間プログラムについて」を参照ください。

2. 各部の名称

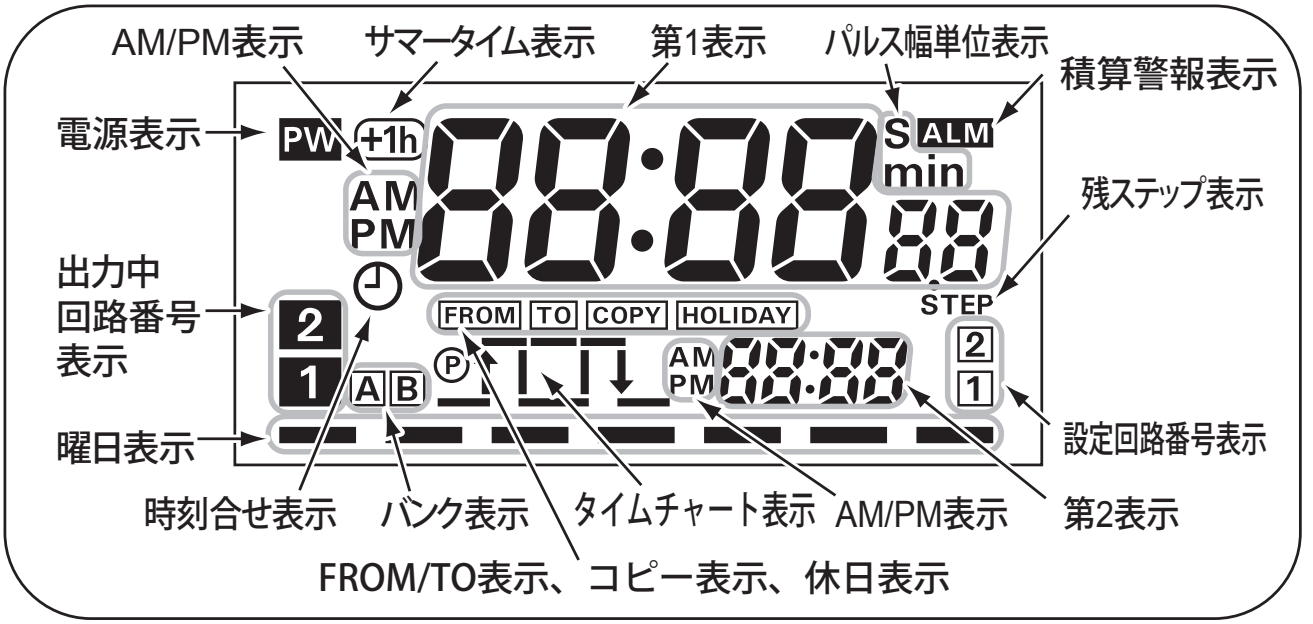
週間
2ch

＜操作部＞

＜週間2ch＞



＜表示部＞

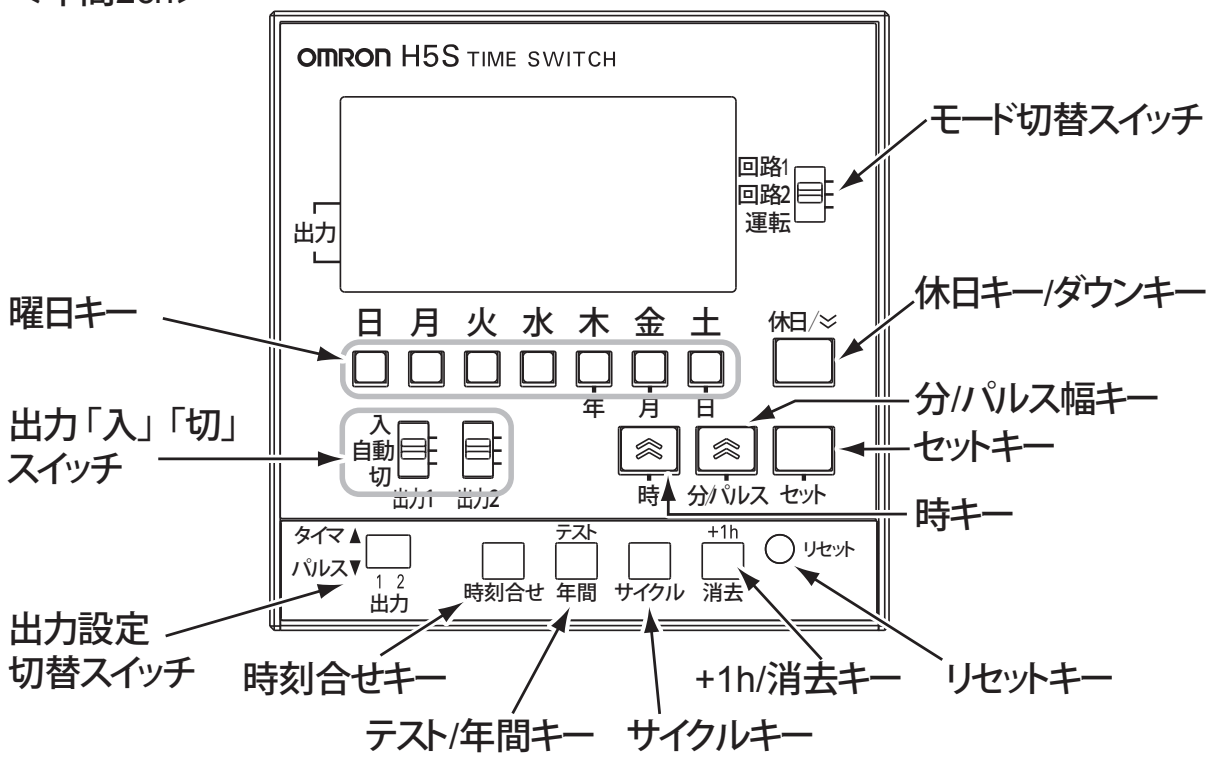


2. 各部の名称

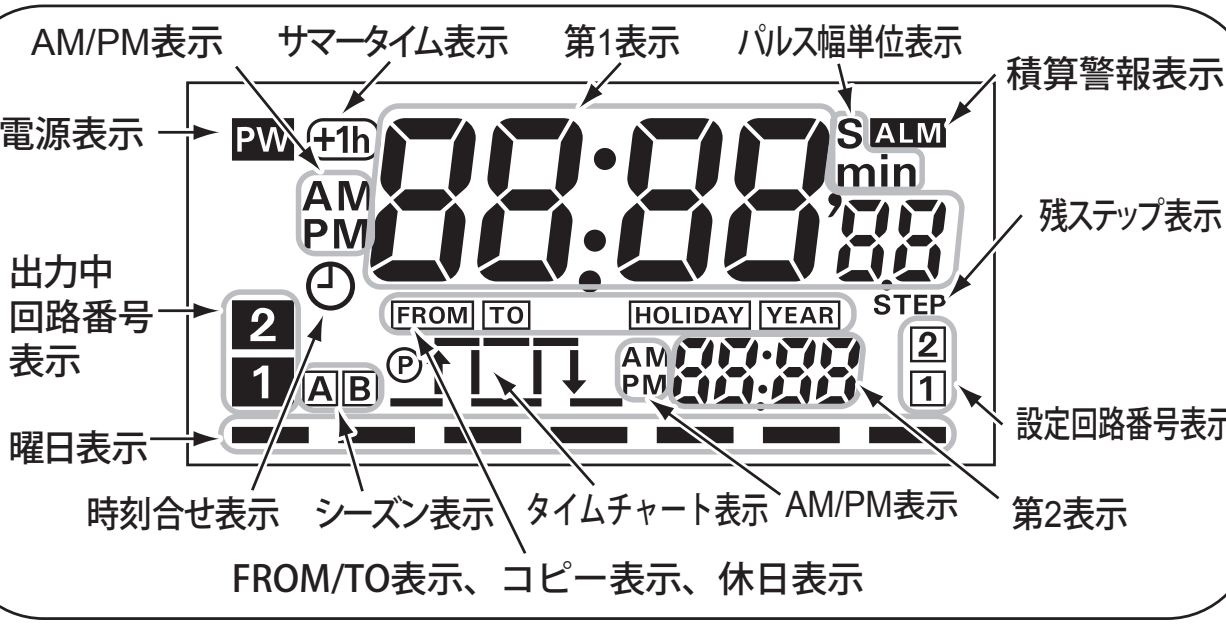
年間
2ch

＜操作部＞

＜年間2ch＞



＜表示部＞

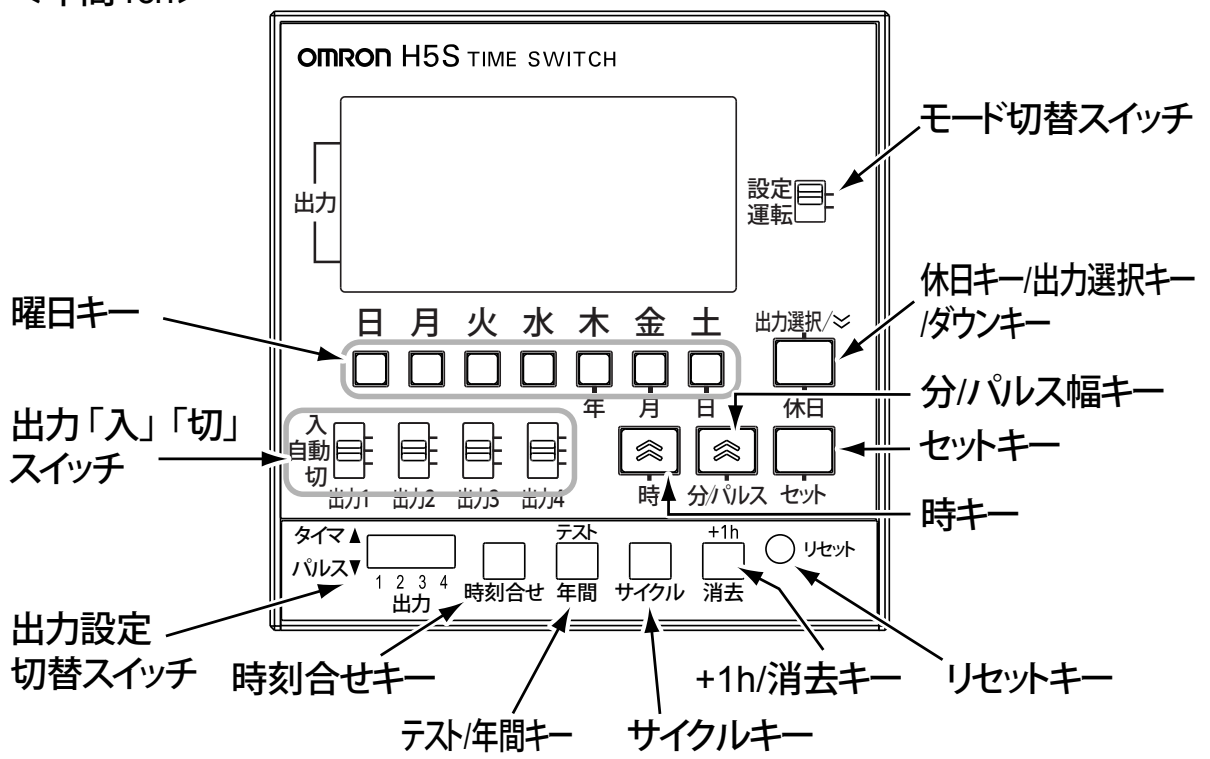


2. 各部の名称

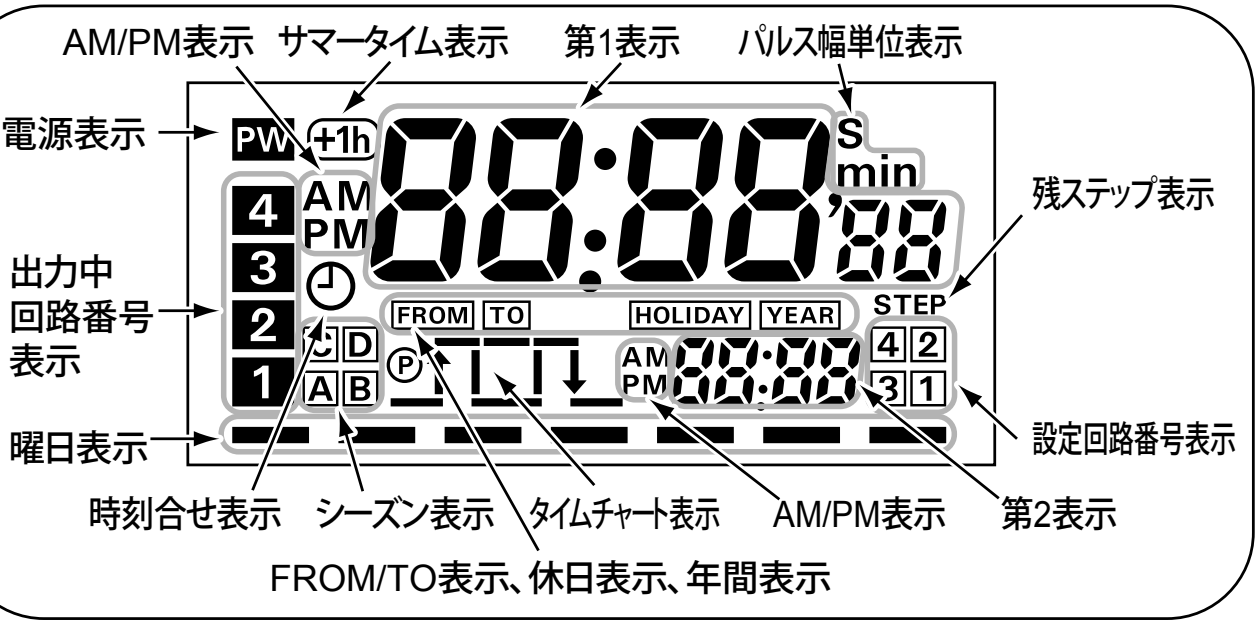
年間
4ch

＜操作部＞

＜年間4ch＞



＜表示部＞



3. 時刻の合わせ方 週間 2ch

【例】 現在時刻（曜日/時/分）を、土曜日の17:28に合わせる

① 運転モードにします。

色は点滅表示をあらわします。

② 時刻合せ を2秒以上押す。
（🕘が点滅します）

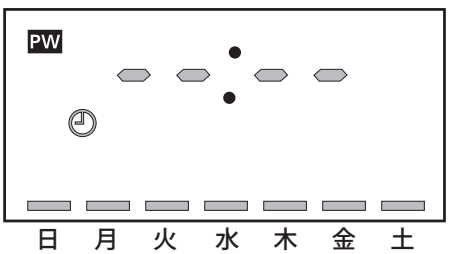
③ 土 を押す。
（土曜日に ▬ 表示が点灯します）
時 、 分 で時刻を指定する。※1

④ セット を押すと設定が確定し、
0秒より計時を始めます。

※1 キーを押し続けると早送りになります。
≪ を押すと直前に押した値がダウンします。

≪ワンポイント≫

- 工場出荷時、またはリセット（☞ 8項）後は時刻合せ画面になりますので、上記の③～④に従って現在時刻の設定を行ってください。
- 時刻設定中に 時刻合せ を押すと時刻合せを終了します。（設定は更新されません）。

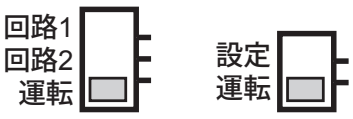


3. 時刻の合わせ方

年間 2ch　年間 4ch

【例】現在時刻(年/月/日/時/分)を、2006年8月15日17:28に合わせる

① 運転モードにします。

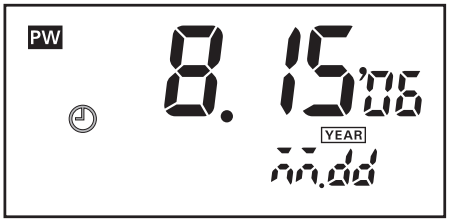


2chタイプ　4chタイプ

色は点滅表示をあらわします。

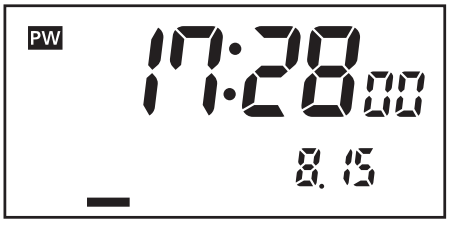
② 時刻合せ を2秒以上押す。
（🕘が点滅します）

③ 年 月 日を押して、年月日を指定する。※1



④ セット を押す
時 、分 で時刻を指定する。※1

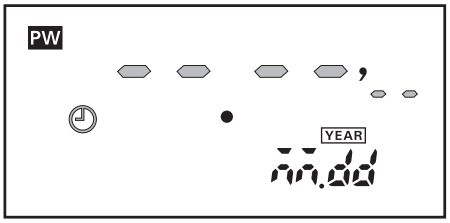
⑤ セット を押すと設定が確定し、
0秒より計時を始めます。



※1 キーを押し続けると早送りになります。
≫ を押すと直前に押した値がダウンします。

≪ワンポイント≫

- 工場出荷時、またはリセット（☞ 8項）後は時刻合せ画面になりますので、上記の③～⑤に従って現在時刻の設定を行ってください。
- 時刻設定中に 時刻合せ を押すと時刻合せを終了します。（設定は更新されません）。

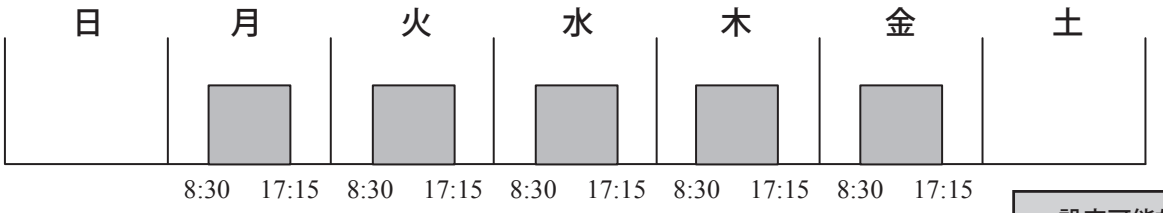


4. 基本的な使い方

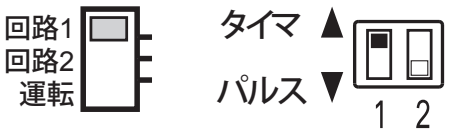
4-1. 普通のタイマ動作

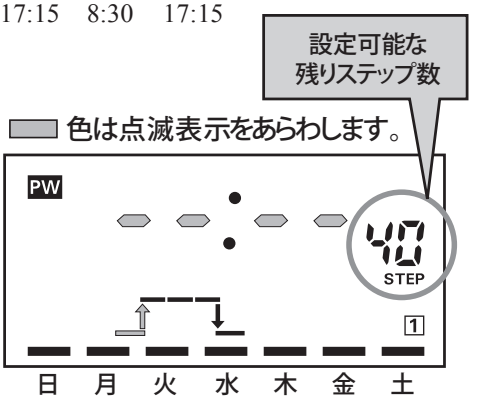
週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch

【例】月曜日から金曜日までの毎日8:30にON、
17:15にOFFさせる。



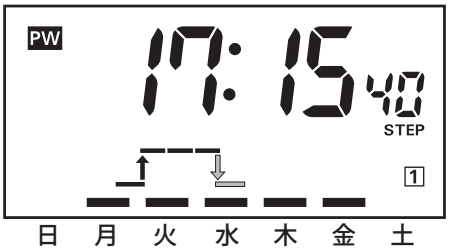
① モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」にする。　※1
→4chタイプは4-5項参照





② 曜日キーを押して月～金に ━ を点灯させる。
時 分 を押してON時刻を指定する。※2

③ セット を押す。
時 分 を押してOFF時刻を設定する。※2



④ セット を押して、設定を確定する。

※1 プログラムが既に入っている場合は、既存プログラムから表示します。
新規追加をする場合は、- - : - - が出るまで セット を押してください。
※2 キーを押し続けると早送りになります。
≪ を押すと直前に押した値がダウンします。

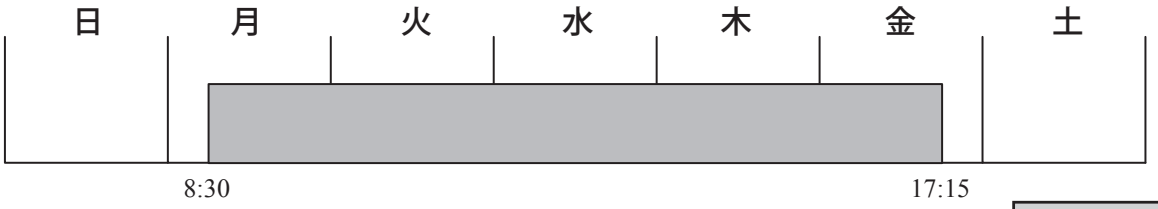
≪ワンポイント≫

- 2組以上の設定は②～④の操作を繰り返します。
- ON時刻、OFF時刻をセットで設定します。
- プログラム設定モードで セット を押すと、すべての週間プログラムが確認できます。
- モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」（4chタイプは「設定」）にすると自動運転が解除されますので、必要に応じて、出力「入」「切」スイッチをご使用ください。
- 出力設定切替スイッチを切替えると設定済の内容がすべて消去されます。

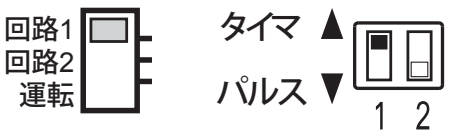
4-2. 日を渡るタイマ動作

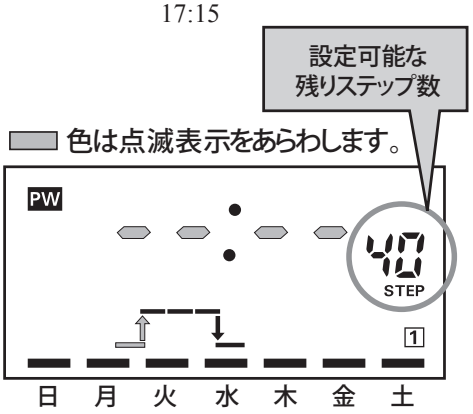
週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch

【例1】月曜日の8:30から金曜日までの17:15まで連続してONさせる。



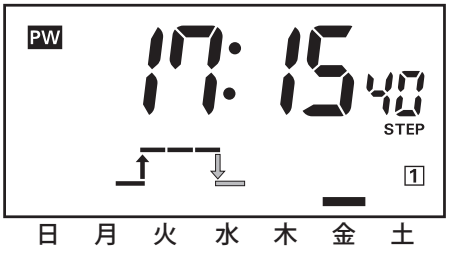
① モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」にする。　※1
→4chタイプは4-5項参照





② 曜日キーを押して月曜だけに━を点灯させる。
時　分を押してON時刻を設定する。※2

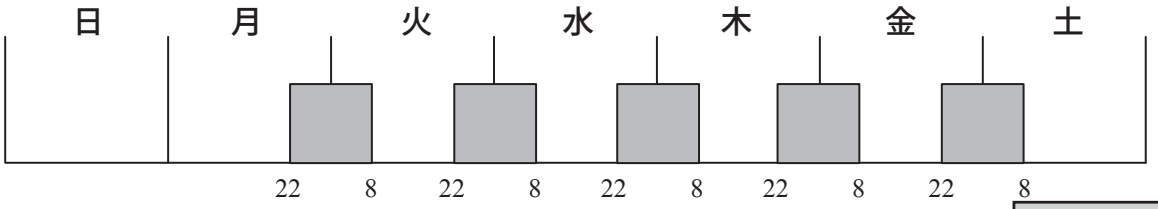
③ セットを押す。
月 を押して━を消灯させ、金を押して━を点灯させる。
時　分を押してOFF時刻を設定する。※2



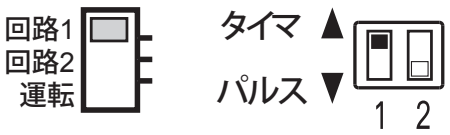
④ セットを押して、設定を確定する。

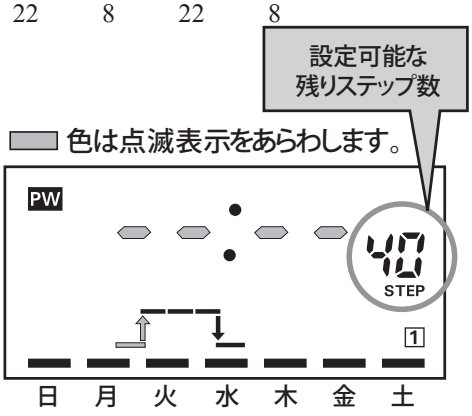
※1 プログラムが既に入っている場合は、既存プログラムから表示します。
新規追加をする場合は、- - : - - が出るまでセットを押してください。
※2 キーを押し続けると早送りになります。
≫ を押すと直前に押した値がダウンします。

【例2】月～金曜の22:00から翌日の8:00まで ONさせる。



① モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」にする。　※1
→4chタイプは4-5項参照





② 曜日キーを押して月～金曜に ━ を点灯させて、ONする曜日を指定する。
[時] [分] を押してON時刻を設定する。※2

③ [セット] を押す。
[月] を押して ━ を消灯させ、[土] を押して ━ を点灯させて、OFFする曜日を指定する。
[時] [分] を押してOFF時刻を設定する。※2

④ [セット] を押して、設定を確定する。

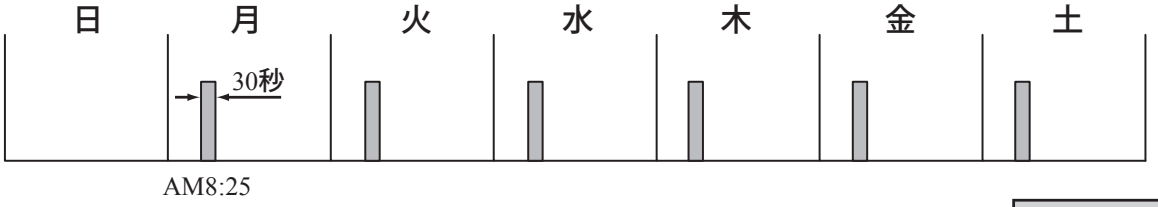
※1　プログラムが既に入っている場合は、既存プログラムから表示します。
新規追加をする場合は、- - : - - が出るまで [セット] を押してください。

※2　キーを押し続けると早送りになります。
[≫] を押すと直前に押した値がダウンします。

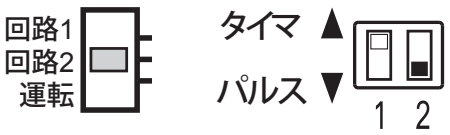
4-3. パルス動作

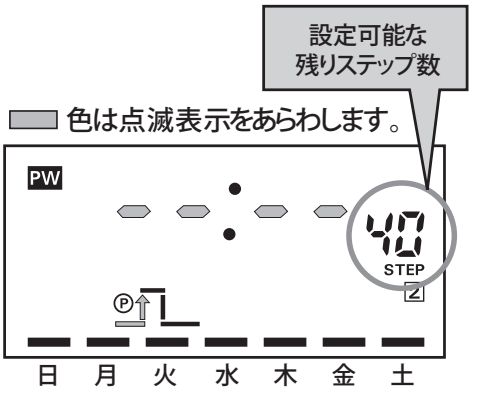
週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch

【例】月曜日から土曜日までの毎日午前8:25から30秒間だけONさせる。



① モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」にする。　※1
→4chタイプは4-5項参照





② 曜日キーを押して月～土に ━ を点灯させる。
時 分 を押してON時刻を指定する。※2

③ セット を押す。
パルス を押してパルス幅を設定する。※2
パルス を押すとパルス幅は以下の通りに変わります。
1s→2s→・・・→59s→1m→・・・59m→60m→1s

④ セット を押して、設定を確定する。

※1　プログラムが既に入っている場合は、既存プログラムから表示します。
新規追加をする場合は、- - : - - が出るまで セット を押してください。

※2　キーを押し続けると早送りになります。
≫ を押すと直前に押した値がダウンします。

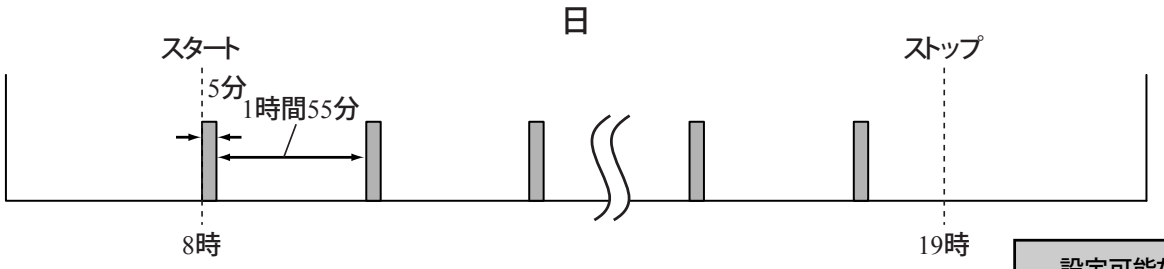
≪ワンポイント≫

- 2組以上の設定は②～④の操作を繰り返します。
- ON時刻、パルス幅をセットで設定します。
- プログラム設定モードで セット を押すと、すべての週間プログラムが確認できます。
- モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」（4chタイプは「設定」）にすると自動運転が解除されますので、必要に応じて、出力「入」「切」スイッチをご使用ください。
- 出力設定切替スイッチを切替えると設定済の内容が全て消去されます。

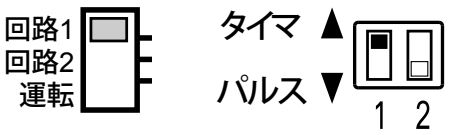
4-4. 繰返し(サイクル)動作

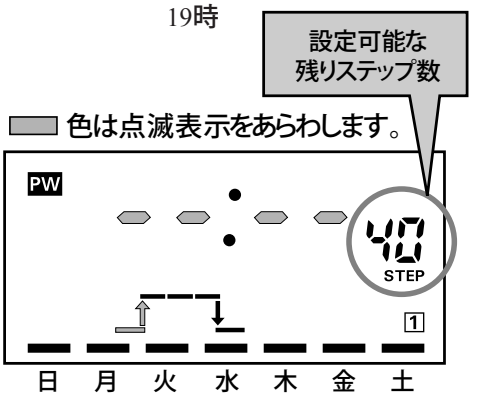
週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch

【例】日曜日の8:00～19:00の間、5分ON／1時間55分OFFを繰り返す。

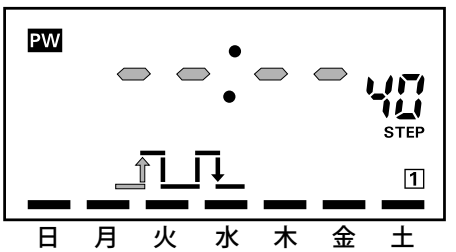


① モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」にする。　※1
→4chタイプは4-5項参照



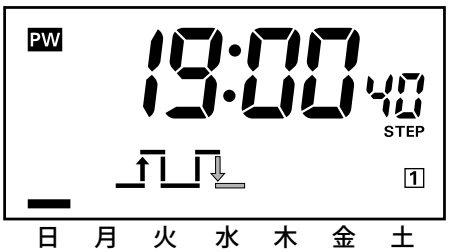


② [サイクル]を押す。
(サイクルプログラム設定画面になる)



③ 曜日キーを押して日曜日の ━を点灯させる。
[時] [分]を押してスタート時刻を設定する。※2

④ [セット]を押す。
[時] [分]を押してストップ時刻を設定する。※2



⑤ セット を押す。
時 分 を押してON時間幅を設定する。※2

⑥ セット を押す。
時 分 を押してOFF時間幅を設定する。※2

⑦ セット を押して、設定を確定する。

※1　プログラムが既に入っている場合は、既存プログラムから表示します。
新規追加をする場合は、- - : - - が出るまで セット を押してください。
※2　キーを押し続けると早送りになります。
≫ を押すと直前に押した値がダウンします。

≪ワンポイント≫
- 2組以上の設定は②～⑦の操作を繰り返します。
- スタート時刻、ストップ時刻、ON時間、OFF時間をセットで設定します。
- プログラム設定モードで セット を押すと、すべての週間プログラムが確認できます。
- モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」（4chタイプは「設定」）にすると自動運転が解除されますので、必要に応じて、出力「入」「切」スイッチをご使用ください。
- サイクル動作は、同一出力ch内で他のプログラムと動作時刻が重なる設定をしないでください。
- 出力設定切替スイッチを切替えると設定済の内容が全て消去されます。

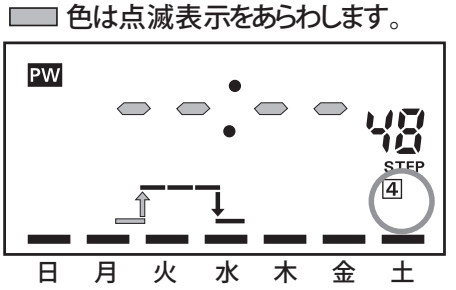
4-5. 4chタイプのプログラム方法

年間 4ch

4chタイプのプログラム（出力選択）方法は以下の通りです。

① モード切替スイッチを設定にする。

② 出力選択 を押して出力No.を選択する。
キーを押すたびに、LCD表示部右下の
設定回路番号は以下のように切り替わります。
→1→2→3→4→1→
以降の操作は2chタイプと同じです。

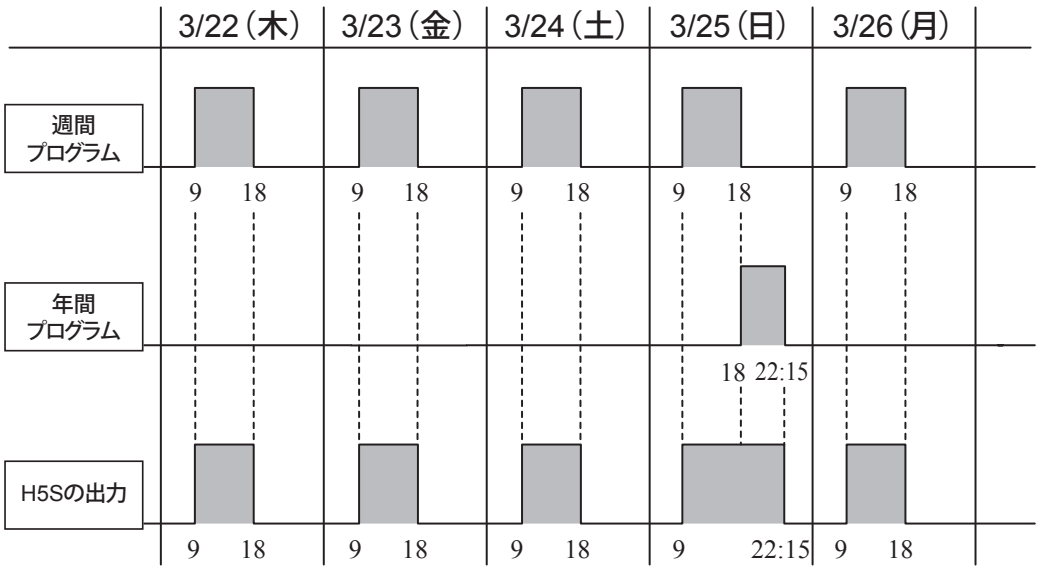


※プログラム設定途中の切替は不可。

4-6. 年間プログラムについて

年間 2ch　年間 4ch

年間式（2ch/4ch共）は通常の週間プログラムに加えて
年間プログラムも追加で入れる事ができます。



※H5Sの出力は週間プログラムと年間プログラムのOR出力となります。

4-7. 年間のタイマ動作

年間 2ch　年間 4ch

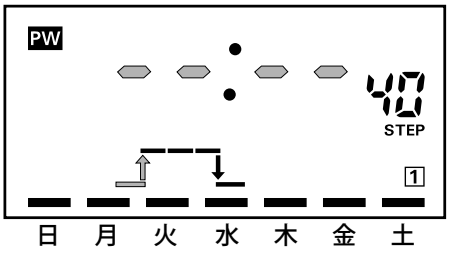
【例1】毎年3月25日は18:00ON、22:15OFF のタイマ動作をする。

プログラム設定は、下記の順番で入力します。

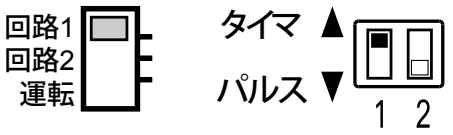
期間
- 3月25日（開始日）
- 3月25日（終了日）

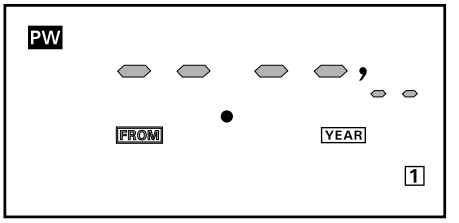
時間
- 18時00分（ON時刻）
- 22時15分（OFF時刻）

色は点滅表示をあらわします。



① モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」にする。　※1
→4chタイプは4-5項参照

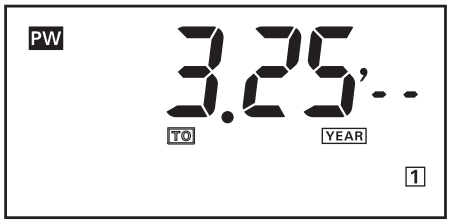




② 年間 を1秒以上押す。
（年間プログラム設定モードになります）

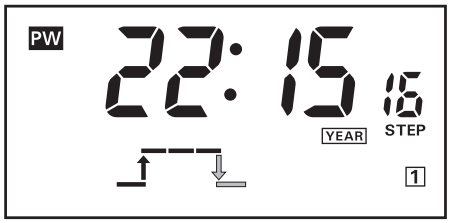
③ 年 月 日 を使って開始年月日を指定する。※2
年は現在年から2年後まで設定可能で
- -は毎年動作。
＜例＞現在2006年の場合、以下のように切り替わります。
- -⇒06⇒07⇒08⇒- -⇒06⇒

④ セット を押す。
同様に 年 月 日 を使って
終了年月日を指定する。※2
開始年月日の年を「- -」とした場合は、
年部分は設定不可。



⑤ セット を押す。
時 分 でON時刻を設定する。※2

⑥ セット を押す。
時 分 でOFF時刻を設定する。※2

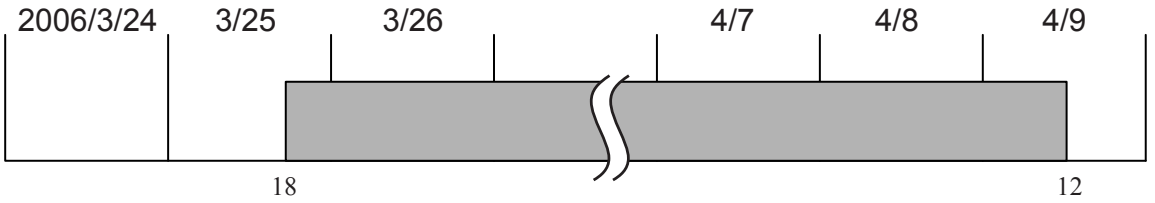


⑦ セット を押して確定する。

※1 プログラムが既に入っている場合は、既存プログラムから表示します。
新規追加をする場合は、- -:- -が出るまで セット を押してください。
※2 キーを押し続けると早送りになります。
≫ を押すと直前に押した値がダウンします。

≪ワンポイント≫
- 2組以上の設定は③～⑦の操作を繰り返します。
- 年間プログラムは週間プログラムに追加されます。（☞4-6項）
- 開始日、終了日、ON時刻、OFF時刻をセットで設定し、出力1chあたりで最大で設定できる数は4組です。
- 1日（開始日と終了日が同じ）の設定も可能です。
- 年間プログラムが一つでも入っている場合は、年間動作（ON）対象時間如何に関わらず運転モードでは YEAR 表示が点灯します。
- 年を指定する場合は、終了日が開始日より後に来るように設定してください。
- 出力設定切替スイッチを切替えると設定済の内容が全て消去されます。

【例2】：2006年3月25日の18:00から 2006年4月9日の12:00まで連続してONさせる。



2日以上に渡り連続でONさせる年間プログラム設定は、
下記例のように2つの年間プログラムを組み合わせます。

プログラム①

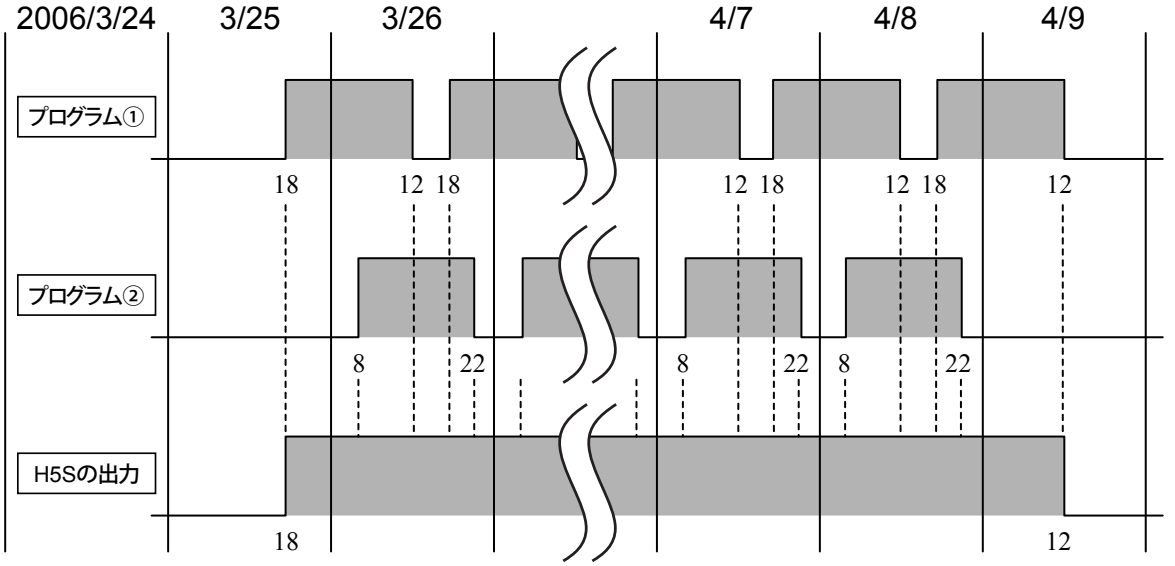
2006年3月25日（開始日）
2006年4月 8日（終了日）
18時00分（ON時刻）
12時00分（OFF時刻）

＋

プログラム②

2006年3月26日（開始日）
2006年4月 8日（終了日）
8時00分（ON時刻）
22時00分（OFF時刻）

※3/25、4/9に週間プログラムが入っていない場合



4-8. 年間のパルス動作

年間 2ch　年間 4ch

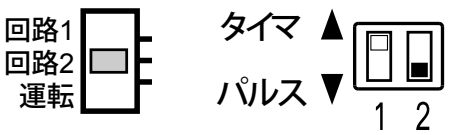
【例】3月25日～4月9日の期間は 18:00から2分間ONのパルス動作をさせる

プログラム設定は、下記の順番で入力します。

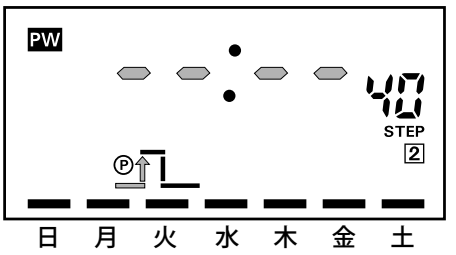
期間
- 3月25日　（開始日）
- 4月 9日　（終了日）

時間
- 18時00分　（ON時刻）
- 2分　（パルス幅）

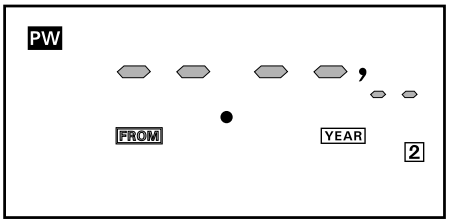
① モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」にする。　※1
→4chタイプは4-5項参照



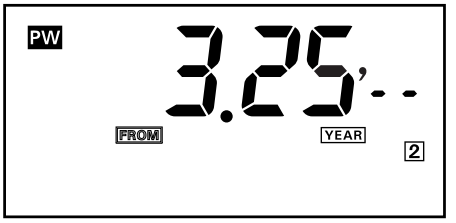
色は点滅表示をあらわします。



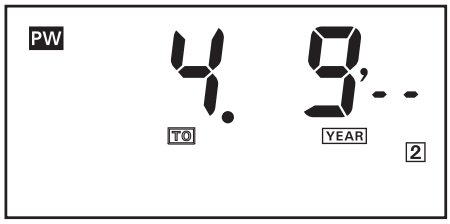
② 年間 を1秒以上押す。
（年間プログラム設定モードになります）



③ 年 月 日 を使って開始年月日を指定する。※2
年は現在年から2年後まで設定可能で
- -は毎年動作。
＜例＞現在2006年の場合、以下のように切り替わります。
- -⇒06⇒07⇒08⇒- -⇒06⇒

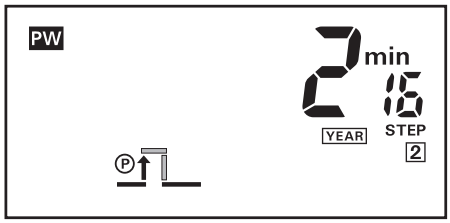


④ セットを押す。
同様に年 月 日を使って終了年月日を
指定する。※2
開始年月日の年を「- -」とした場合は、
年部分は設定不可。



⑤ セットを押す。
時 分を押してON時刻を設定する。※2

⑥ セットを押す。
パルスを使って、パルス幅を設定する。※2
パルスを押すとパルス幅は以下の通りに変わります。
1s→2s→・・・→59s→1m→・・・59m→60m→1s



⑦ セットを押して確定する。

※1 プログラムが既に入っている場合は、既存プログラムから表示します。
新規追加をする場合は、- -:- -が出るまで セットを押してください。
※2 キーを押し続けると早送りになります。
≪ を押すと直前に押した値がダウンします。

≪ワンポイント≫
- 2組以上の設定は③～⑦の操作を繰り返します。
- 年間プログラムは週間プログラムに追加されます。（☞4-6項）
- 開始日、終了日、ON時刻、パルス幅をセットで設定し、出力1chあたりで最大で設定できる数は4組です。
- 1日（開始日と終了日が同じ）の設定も可能です。
- 年間プログラムが一つでも入っている場合は、年間動作（ON）対象時間如何に関わらず運転モードではYEAR表示が点灯します。
- 年を指定する場合は、終了日が開始日より後に来るように設定してください。
- 出力設定切替スイッチを切替えると設定済の内容が全て消去されます。

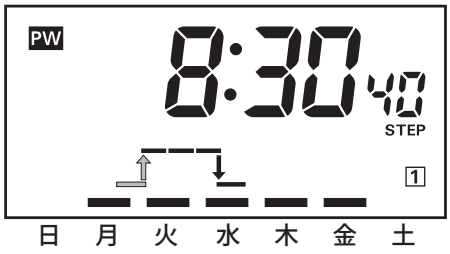
4-9. プログラムの消去

週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch

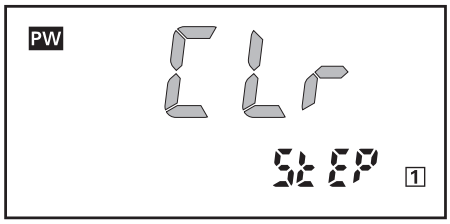
【例1】プログラムを部分的に消去する。

色は点滅表示をあらわします。

① モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」にし、消去したいプログラムを表示させる。
→4chタイプは4-5項参照



② 消去 を短く押す。
（第1表示に「CLr」、第2表示に「StEP」が表示される）
※3秒以上押すとオールクリアになります。



③ セット を押すと対象のプログラムが消去する。

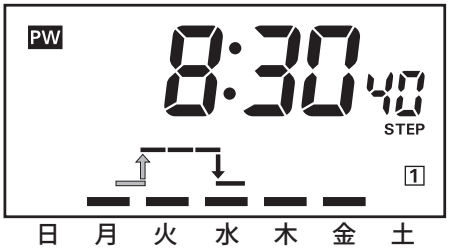
≪ワンポイント≫
- 「CLr」点滅中に 消去 を押すとクリア動作はキャンセルされます。
- 部分消去はそれぞれのセット単位で消去されます。（下記参照）

タイマ動作（週間）	ON／OFF時刻のセット
パルス動作（週間）	ON時刻、パルス幅のセット
サイクル動作（週間）	スタート／ストップ時刻、ON／OFF時間幅のセット
タイマ動作（年間）	開始日、終了日、ON/OFF時刻のセット
パルス動作（年間）	開始日、終了日、ON時刻、パルス幅のセット
休日動作（週間）	すべての休日設定
休日動作（年間）	休日開始日、終了日のセット
コピー動作（週間）	すべてのコピー設定

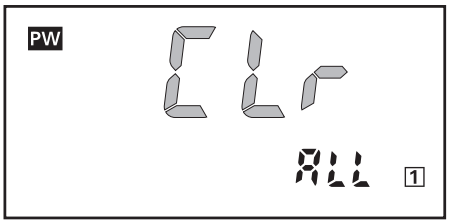
【例2】出力ch単位ですべての設定内容を消去する。

色は点滅表示をあらわします。

① モード切替スイッチを「回路1」または「回路2」にし、オールクリアしたい出力chを指定する。
→4chタイプは4-5項参照



② 消去 を3秒以上押す。
（第1表示に「CLr」、第2表示に「ALL」が表示される）



③ セット を押すとオールクリア（全消去）が確定する。

≪ワンポイント≫
- 「CLr」点滅中に 消去 を押すとクリア動作はキャンセルされます。
- 「現在時刻」「初期設定モード」「週間休日設定」「コピー設定」は消去されません。
- 年間式の場合、年間プログラムも消去されます。

5. 便利な使い方

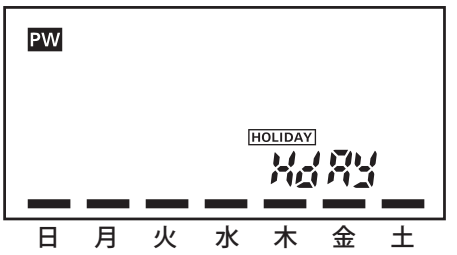
5-1. 休日の設定(週間式) 週間 2ch

簡単に一時的な休日（非動作日）の設定ができます。
対象日が過ぎれば自動的に解除されるので、プログラムを変更したり
出力スイッチを触る事なく、簡単に一時的な休日の設定ができます。

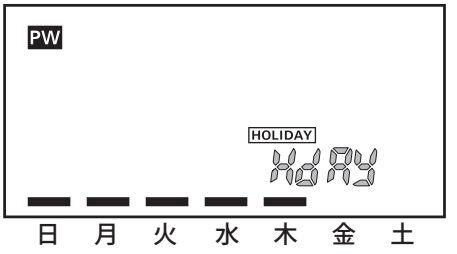
**【例】 次の金曜日と土曜日を休日（非動作日）にし、
翌週以降は通常（プログラム）通りとする。**

色は点滅表示をあらわします。

① 運転モードにおいて、 休日 を2秒以上押す。
（休日設定モードになります。）



② 休日にしたい曜日のキーを押して、
ーを消灯させる。
点灯（プログラム動作） ⇔ 消灯（休日）

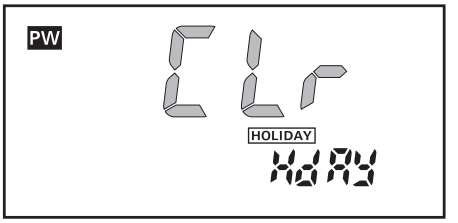


③ セット を押して確定する。
「HdAY」は点灯になり約1秒間保持後、
運転モードに戻る。

≪ワンポイント≫
- 休日は本日より6日後までの設定が可能であり、対象の休日を過ぎると設定は自動で消えます。
- 休日（非動作日）対象となるのは、当日ONするプログラムです。
- 休日（非動作日）は全出力共通です。
- 休日設定モードへの移行は運転モードからのみ可能です。
- 現在曜日の変更を行うと休日設定は全て取り消されます。
- 休日設定モードの状態で 休日 を2s押すか、30秒間操作せずに放置すると自動で運転モードに戻ります。

◆運転モードでの表示
休日では、HOLIDAYが点灯し、休日であることを知らせます。

◆消去
①休日設定モード画面で、 消去 を短く押す。
② セット を押すと、休日設定がクリア（消去）される。
※「CLr」点滅中に 消去 を押すとクリア動作はキャンセルされます。



5-1. 休日の設定(年間式)

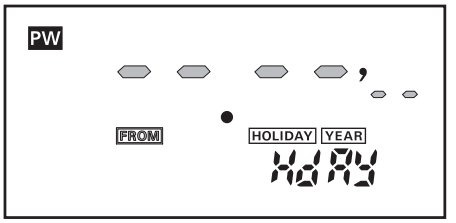
年間 2ch　年間 4ch

日付指定で簡単に一時的な(※)休日（非動作日）の設定ができます。
対象日が過ぎれば自動的に解除されるので、プログラムを変更したり
出力スイッチを触る事なく、簡単に休日の設定ができます。
※毎年の休日設定も可能です。

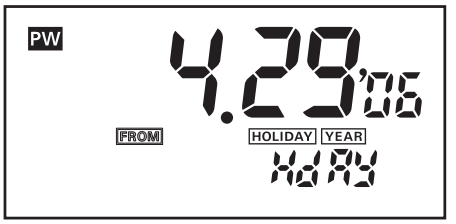
【例】2006年の4月29日～5月7日を休日（非動作日）にし、
翌年以降は通常（プログラム）通りとする。

色は点滅表示をあらわします。

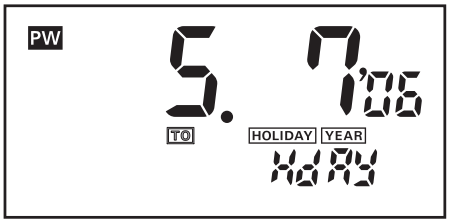
① 運転モードにおいて[休日]を2秒以上押す。※1
（休日設定モードになります）



② [年] [月] [日]を使って休日開始年月日を
指定する。※2
[年]を押すと年表示は、現在年含め2年先まで
表示する。
＜例＞現在2006年の場合、以下のように
切り替わります。
「06」⇒「07」⇒「08」⇒「- -」⇒「06」⇒
- - は毎年動作



③ [セット]を押す。
同様に[年] [月] [日]を使って休日終了年月日
を指定する。※2
（開始年月日の年を「- -」とした場合は、年部分
は設定不可。）



④ [セット]を押して確定する。

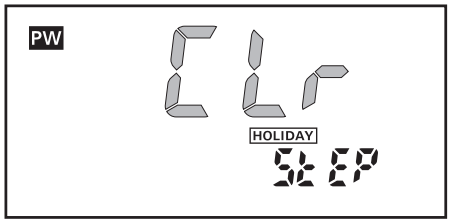
⑤ [休日]を2秒以上押して、運転モードに戻る。

※1　休日が既に入っている場合は、既に入っている休日設定から表示します。
新規追加する場合は、- -.- -が出るまで[セット]を押してください。
※2　キーを押し続けると早送りになります。
[≪] を押すと直前に押した値がダウンします

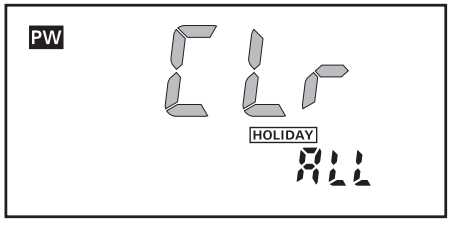
≪ワンポイント≫
- 休日は、本日より翌々年の12/31までの設定が可能です。
- 対象の休日（--年指定は除く）を過ぎると、設定は自動で消えます。
- 2組以上の設定は②～④の操作を繰り返します。
- 設定内容は休日開始日/終了日、必ず1組で設定し、設定できる数は16組です。
- 休日設定モードへの移行は運転モードからのみ可能です。
- 現在年月日の変更を行うと休日設定は全て取り消されます。
- 年を指定する場合は、終了日が開始日より後に来るように設定してください。
- 休日設定モードの状態で 休日 を2s押すか、30秒間操作せずに放置すると自動で運転モードに戻ります。

◆運転モードでの表示
休日では、HOLIDAYが点灯し、休日であることを知らせます。

◆消去
＜部分クリア＞
①消去したい休日設定を出した状態で、 消去 を短く押す。
② セット を押すと、対象の休日設定がクリア（消去）される。
※「CLr」点滅中に 消去 を押すとクリア動作はキャンセルされます。



＜オールクリア＞
①任意の休日設定画面で、 消去 を3秒以上押す。
② セット を押すと、すべての休日設定がクリア（消去）される。
※「CLr」点滅中に 消去 を押すとクリア動作はキャンセルされます。



5-2. プログラムのテスト

週間 2ch | 年間 2ch | 年間 4ch

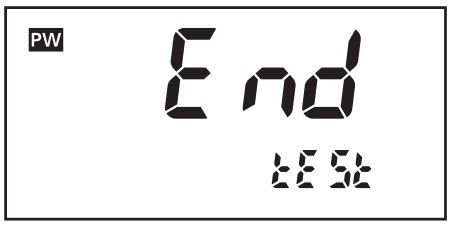
出力が実際にON, OFFする曜日と時刻を動作時刻順に1週間分連続して表示する事ができます。

色は点滅表示をあらわします。

① 運転モード中に[テスト]を2秒以上押す。
（「tESt」表示が点滅し、現在時刻以降、最初の出力反転時刻が表示されます。）

② [セット]を押す。
次の出力反転時刻へ表示が更新されます。
[セット]を押すたびにこれを1週間分継続します。

③ 1週間分の最後の内容を表示中に[セット]を押すと、「End」表示が2秒間点灯後、自動的に運転モードに復帰します。



≪ワンポイント≫
- 表示内容に応じた出力の動作は行いません。
  ただし、設定と現在時刻に従った出力の動作はテストモード中も継続されます。
- テストモード機能は運転モード中のみ有効です。
- 休日設定（☞ 5-1項）、コピー設定（☞ 5-4項:週間式のみ）、年間設定（☞ 4-6項:年間式のみ）の内容も反映した表示を行います。
- 現在曜日以降1週間のみの確認となります。
- ch1の1週間分のテストが終わったら、ch2のテストに移行します。
- テストモード途中で[テスト]を2s以上押すか、30秒間操作せずに放置すると自動で運転モードに戻ります。

5-3. プログラムの確認

週間 2ch | 年間 2ch | 年間 4ch

任意の曜日のプログラムを確認することができます。

色は点滅表示をあらわします。

① 運転モード中に任意の曜日キーを2秒以上押す。
（「CHEC」表示が点滅し、対象曜日の最初の出力ON時刻が表示されます。）

② セットを押す。
次の出力反転時刻へ表示が更新されます。

③ 当日の最後の内容を表示中にセットを押すと、「End」表示が2秒間点灯後、自動的に運転モードに復帰します。

≪ワンポイント≫
- 確認モードへの移行は運転モード中のみ有効です。
- 表示内容に応じた出力の動作は行いません。
  ただし、設定と現在時刻に従った出力の動作は確認モード中も継続されます。
- 休日設定（☞ 5-1項）、コピー設定（☞ 5-4項：週間式のみ）、年間設定（☞ 4-6項：年間式のみ）の内容も反映した表示を行います。
- 確認モードで任意の曜日キーを2秒以上押すか、30秒間操作せずに放置すると自動で運転モードに戻ります。

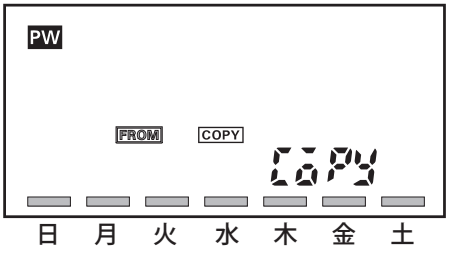
5-4. 動作曜日のコピー 週間 2ch

任意の曜日のプログラムを一時的（一週間のみ）に別の曜日にコピーして振替動作させることができます。

【例】 次の土曜日は日曜日のプログラムで動作をし、翌週以降は通常（プログラム）通りとする。

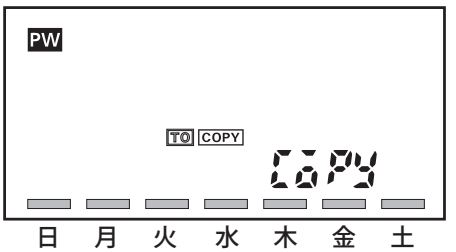
■ 色は点滅表示をあらわします。

① 通常運転モードにおいて、[コピー]を2秒以上押す。
（コピー設定モードになります）



② [日]を押して日曜日に、▬を点灯させて、コピー元を選択する。
（変更を開始すると [COPY] が点滅になる）

③ [セット]を押すと、コピー先の曜日指定画面に移行する。



④ [土]を押して土曜日に▬を点灯させて、コピー先を選択する。
コピー先は複数選択可能。

⑤ [セット]を押して、確定する。

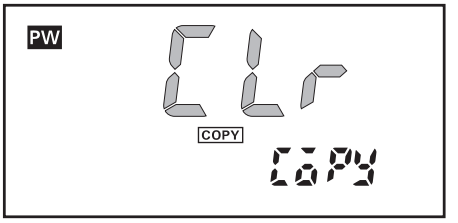
≪ワンポイント≫
- コピー先は本日より6日後までの指定が可能であり、対象の日が過ぎると、設定は自動で消えます。
- コピー設定モードへの移行は運転モードからのみ可能です。
- コピー設定途中で2秒以上 コピー を押すか、30秒以上操作がない場合は、運転モードに復帰します。

◆運転モードでの表示

コピー振替先当日は COPY が点灯し、コピー動作日であることを知らせます。
（この例は土曜日）

◆消去

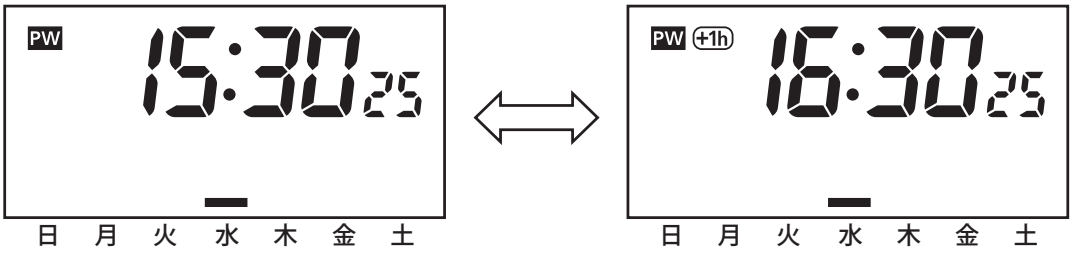
①コピー設定モード画面で、 消去 を短く押す。
② セット を押すと、コピー設定がクリア（消去）される。
※再度 消去 を押すとクリア（消去）動作はキャンセルされる。



5-5. サマータイム(手動切替)

週間 2ch | 年間 2ch | 年間 4ch

＋1h キーを2秒以上押すたびに現在時刻が、
“現在時刻⇔現在時刻＋1h” に切り替わります。

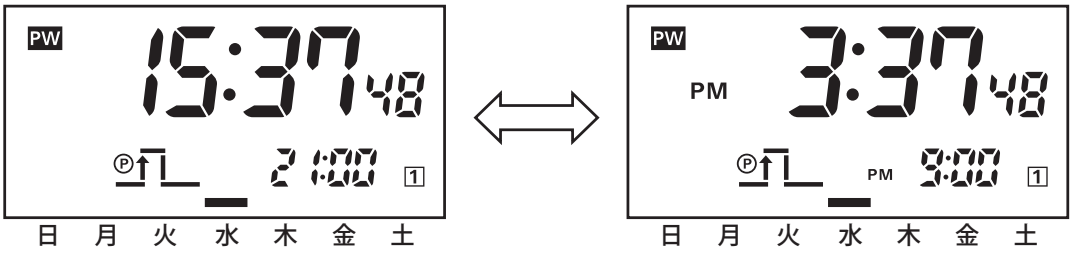


≪ワンポイント≫
- サマータイム時は+1hが点灯します。
- サマータイム手動切替は運転モード中のみ可能です。
- 年間式において、サマータイム自動切替（☞6-6-6項）に設定している場合は、手動切替はできません。
- プログラム設定内容は変更されません。

5-6. 12/24h 表示の切替

週間 2ch | 年間 2ch | 年間 4ch

時 を2秒押すたびに現在時刻が、
“24時間表示⇔AM/PM12時間表示” に切り替わります。



≪ワンポイント≫
- 設定変更は運転モード中のみ可能です。
- 工場出荷時は24h表示です。

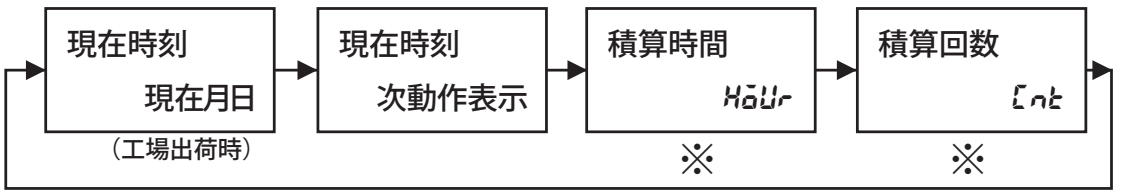
5-7. 画面表示切替 週間 2ch

運転モードで、分を2秒以上押すたびに表示の内容が切り替わります。

※入力選択（☞ 6-6-2項）が「totL」時のみ表示します。

5-7. 画面表示切替 年間 2ch

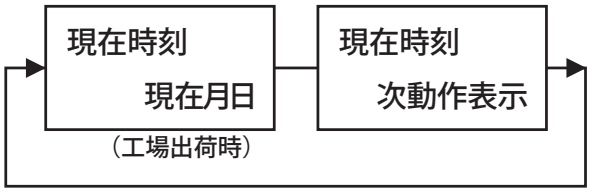
運転モードで、分を2秒以上押すたびに表示の内容が切り替わります。



※入力選択（☞ 6-6-2項）が「totL」時のみ表示します。

5-7. 画面表示切替 年間 4ch

運転モードで、分を2秒以上押すたびに表示の内容が切り替わります。

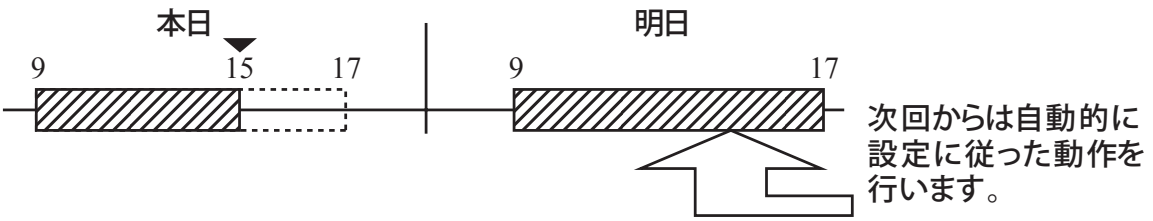


5-8. 半自動出力動作

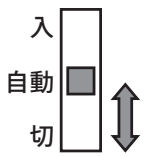
週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch

自動運転のまま、出力をON/OFFさせる機能です。

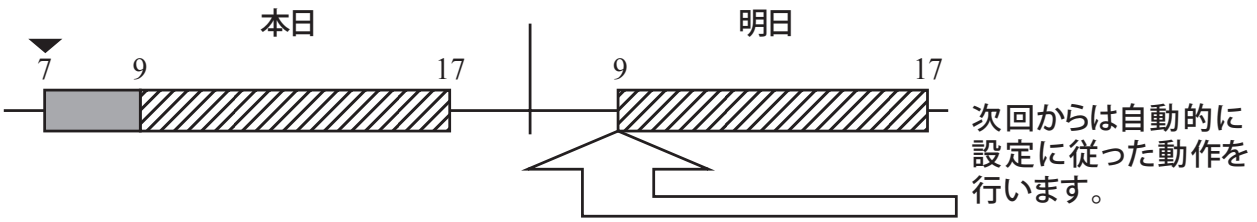
【例1】9:00 ON 、17:00 OFF の設定で毎日稼動中。
本日は生産が早く終わったので15:00に設備をOFFしたい。



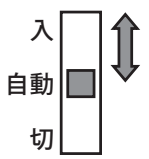
① 15:00の時点で、出力「入」「切」スイッチを「自動」から「切」に変更する。
② セット を押しながら出力「入」「切」スイッチを「切」から「自動」に戻す。（出力OFFは保持する）
③ 次の設定のON時刻から通常プログラム動作をします。



【例2】9:00 ON 、17:00 OFF の設定で毎日稼動中。
本日は生産が多く、午前 7:00から稼動したい。



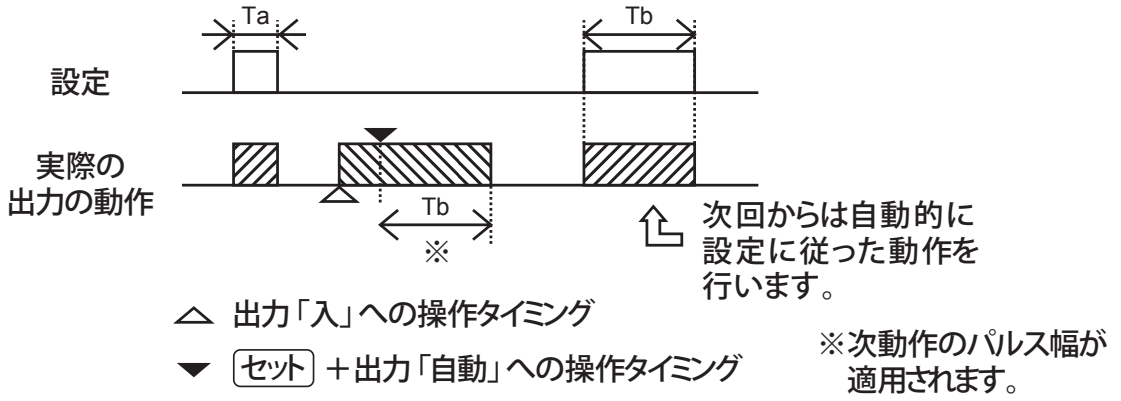
① 7:00の時点で、出力「入」「切」スイッチを「自動」から「入」に変更する。
② セット を押しながら出力「入」「切」スイッチを「入」から「自動」に戻す。（出力ONは保持する）
③ 次の設定のOFF時刻から通常プログラム動作をします。



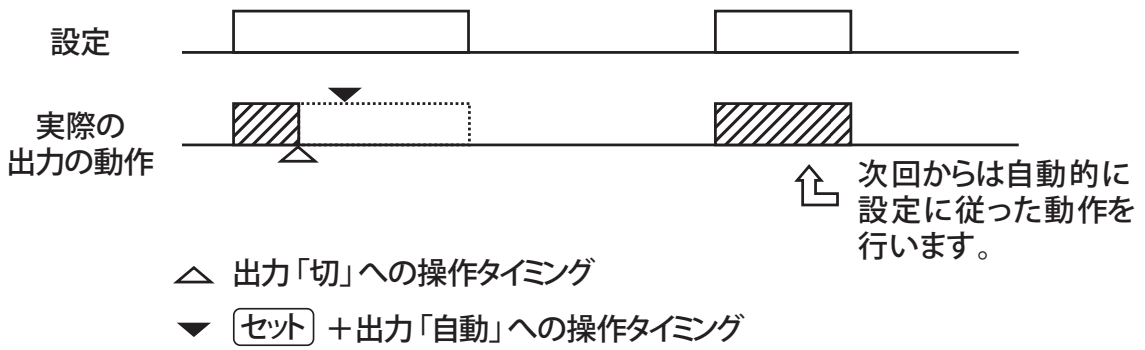
【パルス動作時の半自動出力動作】

パルス動作時の半自動出力動作は次のようになります。
操作方法はタイマ動作の場合と同じです。

【例1】出力OFF中の半自動動作ON



【例2】出力ON中の半自動動作OFF



≪ワンポイント≫

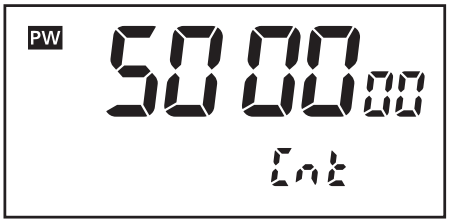
- 半自動出力動作機能は運転モード（電源ON）のみ動作可能です。
- 設定した半自動状態を手動で解除するには出力「入」「切」スイッチを出力状態とは反対側へ操作します。
  例：出力ONで半自動状態の場合は「切」
- 電源OFFすると半自動動作はキャンセルになります。
- 時刻、プログラム設定を変えると半自動動作はキャンセルになります。
- サイクル動作中は半自動操作はしないでください。

6. 応用機能の使い方

6-1. 積算時間/回数表示 週間 2ch 年間 2ch

外部入力の積算時間／積算回数を表示することができます。
また、設定値を入れておくと警報表示を出すこともできます。

積算時間表示画面
（30000時間経過時の画面例）

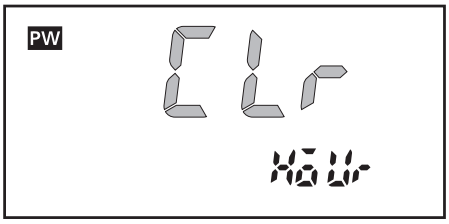


積算回数表示画面
（500000カウント時の画面例）

＜積算時間／回数のリセット＞

① 積算時間、または積算回数の表示画面にて、消去を3秒以上押す。
② セットを押すとクリア（消去）する。
※「CLr」点滅表示中に再度 消去 を押すと戻ります。

色は点滅表示をあらわします。



≪ワンポイント≫
- 本機能を使用するためには、入力の割付（☞ 6-6-2項）が必要です。
- 積算時間/回数画面を表示する方法（☞ 5-7項）
- 警報値の設定方法（☞ 6-6-3, 6-6-4項）
- 警報（ALM）表示は、積算時間/積算回数警報値のいずれか一方が達すると表示します。
- 積算時間は0.1h単位で表示されます。
- フルスケール（99999.9hまたは999999）になると0に戻ります。
- 電源ON時のみ積算可能です。
- 配線については設置編「3. 配線方法」を参照ください。

6-2. 時刻合せ入力機能 週間 2ch 年間 2ch

外部入力のタイミングで「00分00秒」に合わせる事ができます。
また、複数台のH5Sを設置の場合、時刻を同期させる事もできます。

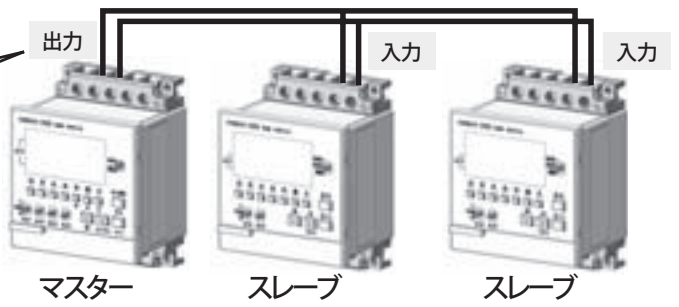
≪ワンポイント≫
- 本機能を使用するためには、入力の割付（☞6-6-2項）が必要です。
- 電源ON時のみ、入力機能を使用できます。
- 配線については設置編「3. 配線方法」を参照ください。

時刻の同期が可能!

複数台のH5Sの時刻を同期させることができます。

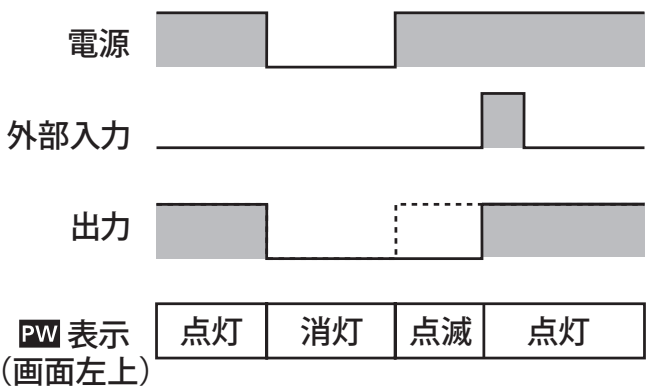
<構成例>

「マスター」は余っている出力を使い正時（例えば12:00）にパルス出力を出すようにプログラムします。



6-3. 停電手動復帰 週間 2ch 年間 2ch

形H5Sへの供給電源が復電した時に、外部入力を入れるまで出力をONさせないようにする事ができます。

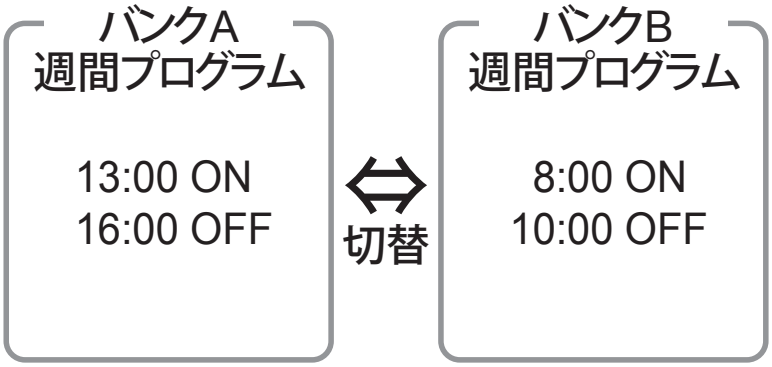


≪ワンポイント≫
- 復電後に自動で出力が復帰（ON）するのが困るアプリケーションで便利です。
- 本機能を使用するためには、入力の割付（☞6-6-2項）が必要です。
- 配線については設置編「3. 配線方法」を参照ください。

6-4. バンク切替

週間
2ch

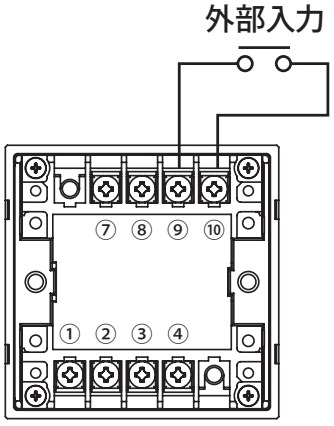
プログラムのグループ（バンク）を2つ持つことができ、このバンクを
外部入力で切り替える事ができます。



◆運転中のバンクの切替方法

外部入力の状態により下表のように切り替わります。（電源ON時のみ）

	開放	短絡
バンク	A	B



※埋込取付タイプの場合

◆バンクのプログラム方法

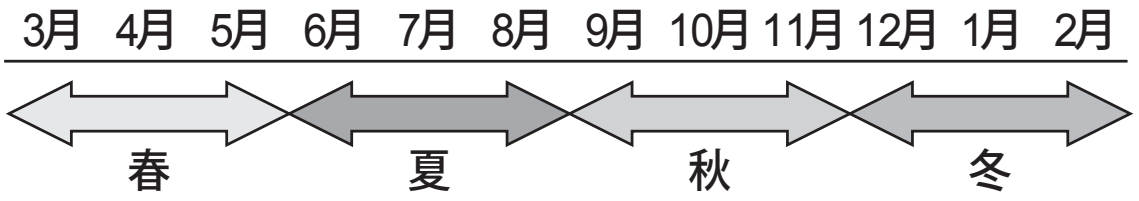
プログラム設定モードにて、[時刻合せ]を押すと、
バンクが切り替わります。
それぞれのバンクで独立のプログラムが可能です。

≪ワンポイント≫
- 本機能を使用するためには、入力の割付（☞6-6-2項）が必要です。
- 配線については設置編「3. 配線方法」を参照ください。

6-5. シーズン切替

年間 2ch　年間 4ch

季節に応じて、週間プログラムが自動で切り替わるように、年間の動作を設定できます。



シーズン（※）	春	夏	秋	冬
プログラム例	17:30 ON 21:00 OFF	19:00 ON 22:00 OFF	18:00 ON 21:00 OFF	17:00 ON 21:00 OFF

※ 4chタイプは4シーズン、2chタイプは2シーズンに分けて設定できます。

◆シーズンの切替

初期設定モード（☞ 6-6-9）で指定した期日にプログラムが自動で切り替わります。

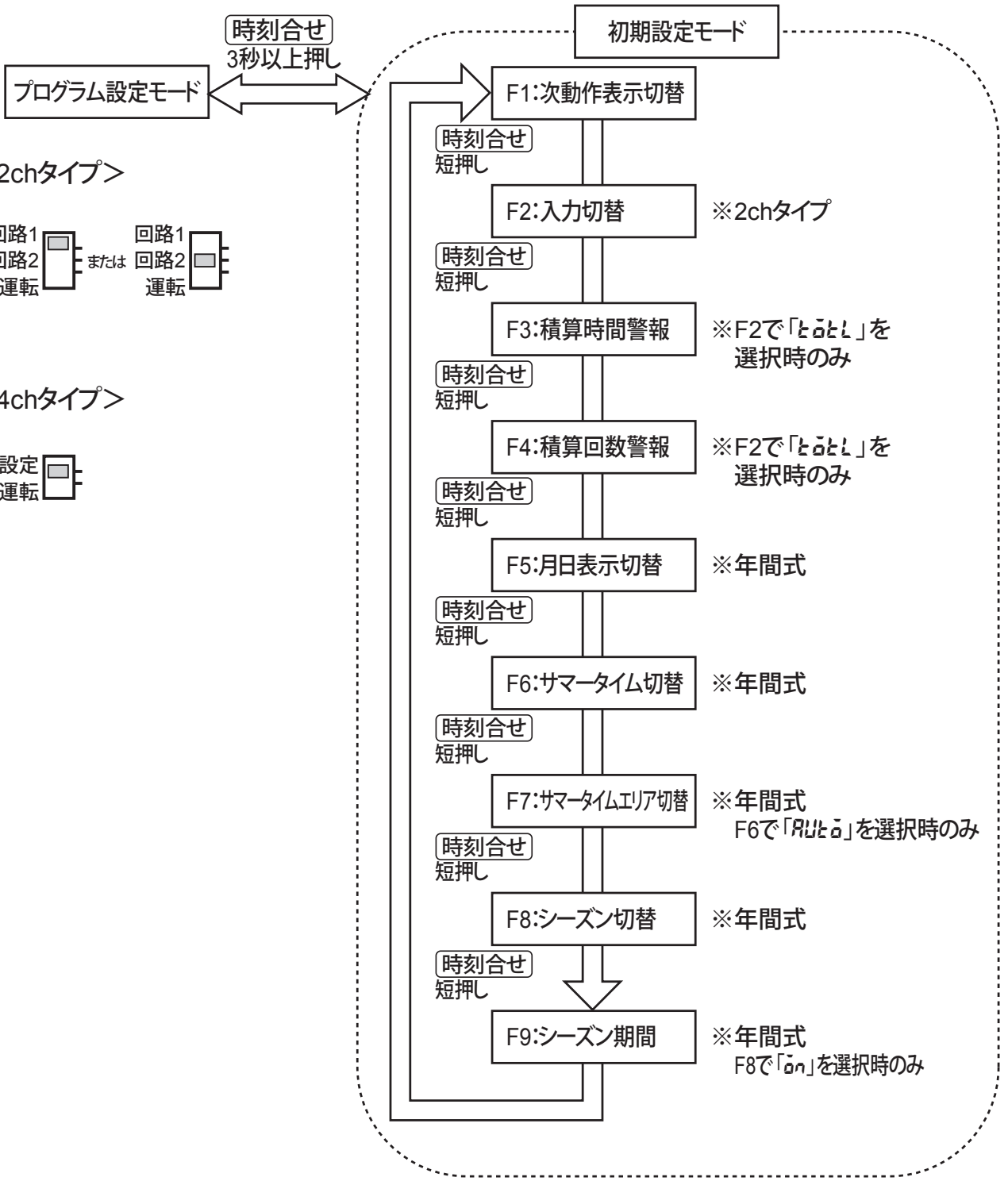
◆シーズンのプログラム方法

プログラム設定モードにて、時刻合せを押すと、シーズンが切り替わります。
それぞれのシーズンで独立の週間プログラムが設定可能です。

≪ワンポイント≫
- シーズン切替を使用するためには、初期設定モードでの設定（☞ 6-6-8, 6-6-9項）が必要です。
- シーズン切替の対象となるのは週間プログラムであり、年間プログラムはシーズン切替の対象外です。

6-6. 初期設定モード

週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch



＜2chタイプ＞

＜4chタイプ＞

≪ワンポイント≫

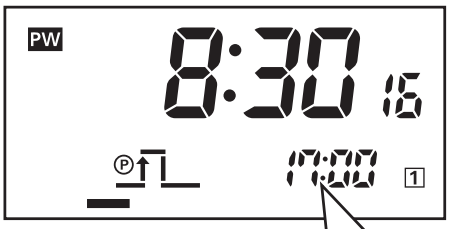
- プログラム設定モードからのみ移行可能です。
- 仕様、設定などにより、表示するファンクション（F）は異なります。

6-6-1. F1 :次動作表示切替

週間 2ch | 年間 2ch | 年間 4ch

第2表示に表示できる「次動作表示（次に出力が切り替わる時刻）」の出力ch優先順位を切り替えることができます。
優先的にモニターしたいchがある場合は便利です。

色は点滅表示をあらわします。



ch1の次動作を表示中

◆パラメータ

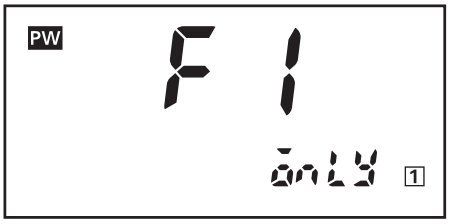
- **only 1** ・・・ ch1のみの次ステップを表示
- only 2 ・・・ ch2 〃
- only 3 ・・・ ch3 〃
- only 4 ・・・ ch4 〃
- ALL 1234 ・・・ 1>2>3>4の優先順位で、すべてのchを表示。
  （例）現在時刻より24時間先までに、ch1の出力反転プログラムがなければch2を表示。

※ch3,4は4chタイプのみ
※ **反転文字** は工場出荷時のデフォルト値

◆操作方法

初期設定モードのF1（次動作表示）にて行います。

① 設定モードにて 時刻合せ を3秒以上押して、初期設定モードに移行する。



② 時 または 分 を押して変更する。
（第2表示が点滅を始め、まだこの時点では確定していない。）

③ セット を押して確定する。
（点滅が点灯に変わる）

≪ワンポイント≫

- 次動作表示は24時間以内の出力反転プログラムを表示します。
- 初期設定モードから抜ける場合は、時刻合せ を3秒以上押します。
- 設定中に 時刻合せ を押した場合は、設定は変更されません。
- 次動作表示の表示方法（☞ 5-7項）

6-6-2. F2：入力切替

週間 2ch　年間 2ch

外部入力の機能を「停電手動復帰入力」「積算入力」
「時報合わせ入力」「バンク切替入力」の中で切り替える事ができます。

◆パラメータ

- **----** ・・・ 入力無効
- bOOt ・・・ 停電手動復帰入力（☞6-3項）
- tOtL ・・・ 積算入力（☞6-1項）
- SYnC ・・・ 時刻合わせ入力（☞6-2項）
- bAnK ・・・ バンク切替入力（☞6-4項）

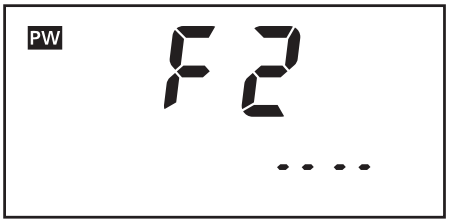
※バンク切替入力は週間2chタイプのみ
※ **反転文字** は工場出荷時のデフォルト値

◆操作方法

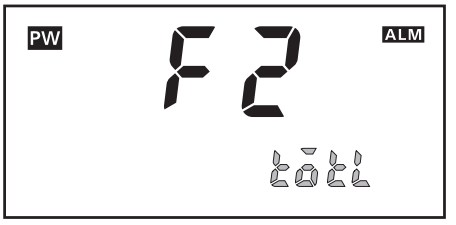
初期設定モードのF2（入力切替）にて行います。

色は点滅表示をあらわします。

① 設定モードにて 時刻合せ を3秒以上押して、初期設定モードに移行し、 時刻合せ を押してF2に移行する。



② 時 または 分 を押して変更する。
（第2表示が点滅を始め、まだこの時点では確定していない。）



③ セット を押して確定する。
（点滅が点灯に変わる）

≪ワンポイント≫
- 初期設定モードから抜ける場合は、 時刻合せ を3秒以上押します。
- 設定中に 時刻合せ を押した場合は、設定は変更されません。
- バンク切替入力に設定、またはバンク切替入力から他の機能に設定変更した場合は、 セット を押した時点で、設定済の週間プログラムがすべて消去されます。

6-6-3. F3 :積算時間警報 週間 2ch 年間 2ch

積算時間/回数表示機能（☞6-1項）の積算時間に警報値を設定できます。

◆設定範囲

0.0～99990.0時間

※　設定は10時間単位です。

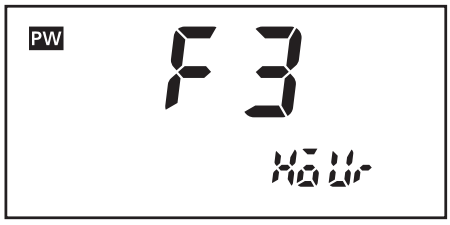
※　工場出荷時は0.0h（警報表示出力設定なし）

◆操作方法

初期設定モードのF3（積算時間警報）にて行います。

色は点滅表示をあらわします。

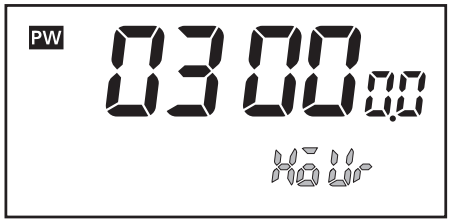
① 設定モードにて 時刻合せ を3秒以上押して、初期設定モードに移行し、 時刻合せ を短く押してF3に移行する。



② F3に移行したら2秒後に自動的に警報値設定画面に切り替わるので、 時 または 分 を押して変更する。（ ≫ を押すと直前に押した値がダウンします）

時 キー：1000時間単位でup

分 キー：　10時間単位でup



③ セット を押して確定する。

（約1秒保持後、①のF3の初期画面に戻る）

≪ワンポイント≫

- 本メニュー（F3）は、入力切替（F2）が「totL」になっていないと表示しません。
- 警報（ ALM 表示）は、積算時間警報値（F3）/積算回数警報値（F4）のいずれか一方が達すると表示します。
- 積算時間警報値が0に設定されている場合は、警報表示はしません。
- 初期設定モードから抜ける場合は、 時刻合せ を3秒以上押します。
- 設定中に 時刻合せ を押した場合は、設定は変更されません。

6-6-4. F4 :積算回数警報 週間 2ch 年間 2ch

積算時間/回数表示機能（☞ 6-1項）の積算回数に警報値を設定できます。

◆設定範囲

0-999900（6桁）

※　設定は100単位です。

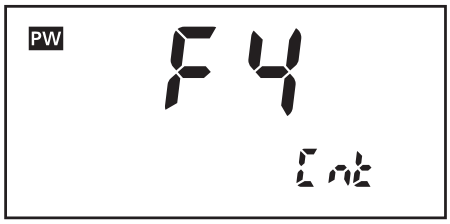
※　工場出荷時は0（警報表示出力設定なし）

◆操作方法

初期設定モードのF4（積算回数警報）にて行います。

色は点滅表示をあらわします。

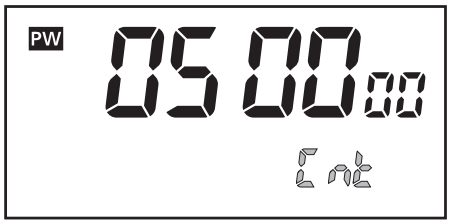
① 設定モードにて 時刻合せ を3秒以上押して、初期設定モードに移行し、 時刻合せ を短く押してF4に移行する。



② F4に移行したら2秒後に自動的に警報値設定画面に切り替わるので、 時 または 分 を押して変更する。（ ≫ を押すと直前に押した値がダウンします）

時キー：10000単位でup

分キー：　100単位でup



③ セット を押して確定する。

（約1秒保持後、①のF4の初期画面に戻る）

≪ワンポイント≫

- 本メニュー（F4）は、入力切替（F2）が「totL」になっていないと表示しません。
- 警報（ALM 表示）は、積算時間警報値（F3）/積算回数警報値（F4）のいずれか一方が達すると表示します。
- 積算回数警報値が0に設定されている場合は、警報表示はしません。
- 初期設定モードから抜ける場合は、 時刻合せ を3秒以上押します。
- 設定中に 時刻合せ を押した場合は、設定は変更されません。

6-6-5. F5 :月日表示切替

年間 2ch　年間 4ch

月日の表示順番を「月.日」「日.月」で切り替える事ができます。

◆パラメータ

nn.dd ： 「月.日」

dd.nn ： 「日.月」

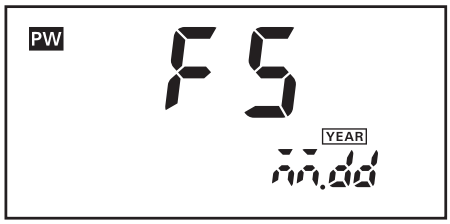
※ **反転文字** は工場出荷時のデフォルト値

◆操作方法

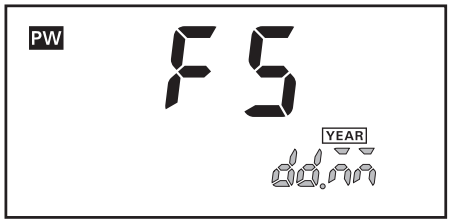
初期設定モードのF5（月日表示切替）にて行います。

色は点滅表示をあらわします。

① 設定モードにて 時刻合せ を3秒以上押して、初期設定モードに移行し、 時刻合せ を短く押してF5に移行する。



② 時 または 分 を押して変更する。
（第2表示が点滅を始め、まだこの時点では確定していない。）



③ セット を押して確定する。
（点滅が点灯に変わる）

≪ワンポイント≫

- 本機能（F5）で設定した順番は、「時刻設定」、「プログラム設定」、「休日設定」など、月日表示をする画面すべてに反映されます。
- 初期設定モードから抜ける場合は、 時刻合せ を3秒以上押します。
- 設定中に 時刻合せ を押した場合は、設定は変更されません。

6-6-6. F6 :サマータイム切替

年間 2ch　年間 4ch

サマータイムの切替を、手動⇔自動で選択できます。

◆パラメータ

oFF ： 手動切替

AUto ： 自動切替（切替時期はF7にて選択）

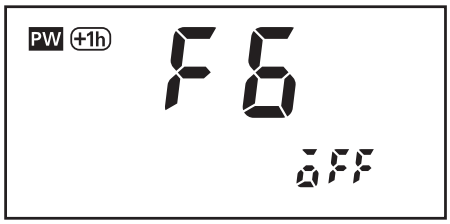
※ **反転文字** は工場出荷時のデフォルト値

◆操作方法

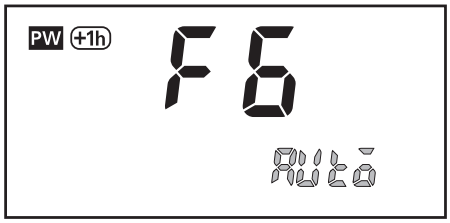
初期設定モードのF6（サマータイム切替）にて行います。

色は点滅表示をあらわします。

① 設定モードにて 時刻合せ を3秒以上押して、初期設定モードに移行し、 時刻合せ を短く押してF6に移行する。



② 時 または 分 を押して変更する。
（第2表示が点滅を始め、まだこの時点では確定していない。）



③ セット を押して確定する。
（点滅が点灯に変わる）

≪ワンポイント≫

- 「AUto」（自動）を設定した場合、本体前面の ＋1h での切替はできなくなります。
- 初期設定モードから抜ける場合は、 時刻合せ を3秒以上押します。
- 設定中に 時刻合せ を押した場合は、設定は変更されません。

6-6-7. F7 :サマータイムエリア切替

年間 2ch　年間 4ch

サマータイム自動切替の時期（エリア）を選択できます。

◆パラメータ

エリア	サマータイム開始日・時刻	サマータイム終了日・時刻
US（北米）	3月第2日曜の2時	11月第1日曜の2時
EU（欧州）	3月最終日曜の2時	10月最終日曜の3時
AUSt（豪州）	10月最終日曜の2時	3月最終日曜の3時

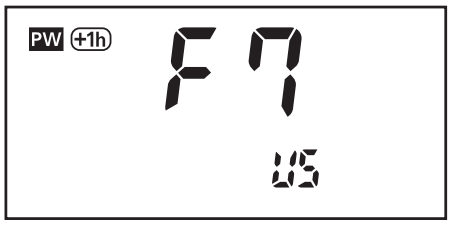
※ **反転文字** は工場出荷時のデフォルト値

◆操作方法

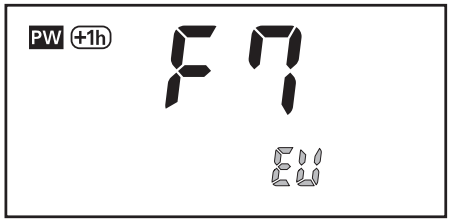
初期設定モードのF7（サマータイムエリア切替）にて行います。

色は点滅表示をあらわします。

① 設定モードにて [時刻合せ] を3秒以上押して、初期設定モードに移行し、[時刻合せ] を短く押してF7に移行する。



② [時] または [分] を押して変更する。
（第2表示が点滅を始め、まだこの時点では確定していない。）



③ [セット] を押して確定する。
（点滅が点灯に変わる）

≪ワンポイント≫
- 本機能（F7）は、F6（サマータイム切替）が「AUto」の場合にのみ表示されます。
- 初期設定モードから抜ける場合は、[時刻合せ] を3秒以上押します。
- 設定中に [時刻合せ] を押した場合は、設定は変更されません。

6-6-8. F8 :シーズン切替

年間 2ch　年間 4ch

シーズン（月日）によるプログラムの自動切替ができます。

◆パラメータ

oFF ： 切替なし

on ： 自動切替（期間はF9にて設定）

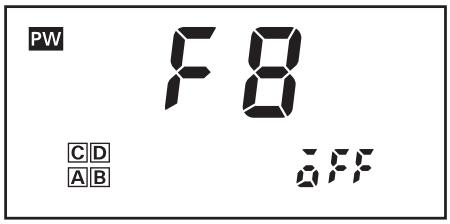
※ **反転文字** は工場出荷時のデフォルト値

◆操作方法

初期設定モードのF8（シーズン切替）にて行います。

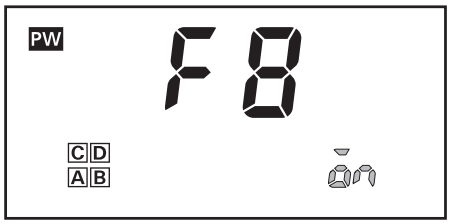
色は点滅表示をあらわします。

① 設定モードにて 時刻合せ を3秒以上押して、初期設定モードに移行し、 時刻合せ を短く押してF8に移行する。



② 時 または 分 を押して変更する。
（第2表示が点滅を始め、まだこの時点では確定していない。）

③ セット を押して確定する。
（点滅が点灯に変わる）



※2chタイプは「C」「D」は出ません。

≪ワンポイント≫

- シーズン切替を使用すると、プログラムできるステップ数が変更になります。（「（設置編）4. 定格性能」参照）
- ON⇔OFFの切替を行なうと、設定済みの週間プログラムはすべて消去されます。
- シーズン切替の対象となるのは週間プログラムのみであり、年間プログラムはシーズン切替の対象外です。
- 初期設定モードから抜ける場合は、 時刻合せ を3秒以上押します。

6-6-9. F9 :シーズン期間

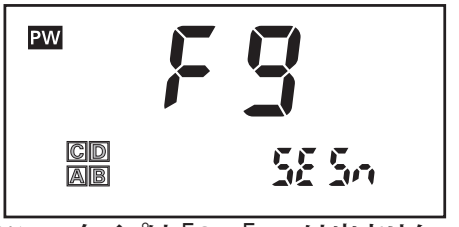
年間 2ch　年間 4ch

プログラムを自動で切り替える時期を「月日」にて指定します。

◆操作方法

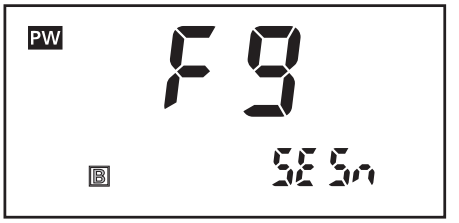
初期設定モードのF9（シーズン期間）にて行います。■色は点滅表示をあらわします。

① 設定モードにて [時刻合せ] を3秒以上押して、初期設定モードに移行し、[時刻合せ] を短く押してF9に移行する。

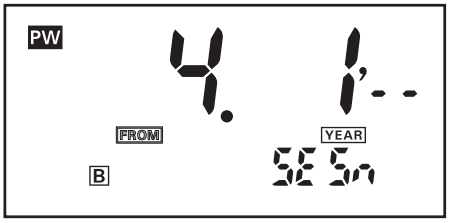


※2chタイプは「C」「D」は出ません。

② [時] または [分] を押して、期間を設定したいシーズンを選択する。

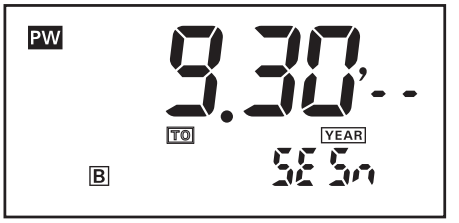


③ [セット] を押してシーズンを確定すると、期間の開始月日入力画面になるので、[月] [日] にて指定する。※



④ [セット] を押すと、期間の終了月日入力画面になるので、[月] [日] にて指定する。※

⑤ [セット] を押して確定する。
（[セット] を押すと、次のシーズン設定に移行する）



※ キーを押し続けると早送りになります。
[≪] を押すと直前に押した値がダウンします

≪ワンポイント≫

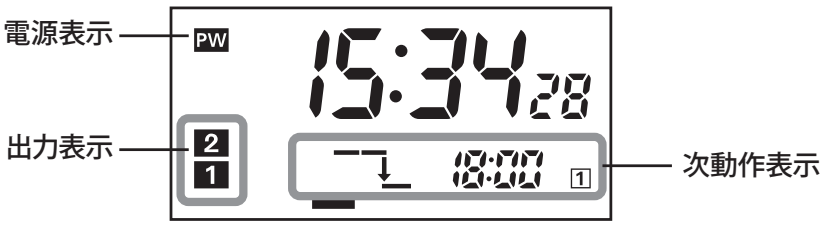
- 工場出荷時は以下の期間がデフォルトで入っています。
  A　：1. 1 ～ 12.31（1/1～12/31）
  B～D　：- -.- - ～ - -.- -（指定なし）※2chタイプは「C」「D」は出ません。
- 期間が重複する設定をした場合は、A<B<C<Dのような優先順位となります。
  ＜例＞A（1/1～12/31）、B（4/1～9/30）に設定の場合
  1/1～3/31：A　、　4/1～9/30：B　、　10/1～12/31：A
- 年の指定はできません。
- 閏年では2/29は2/28と同じと動作をします（2/29指定はできません）。
- 期間を設定したくない場合は、- -.- -にすると指定されません。
- 設定中に [時刻合せ] を押した場合は、設定は変更されません。
- 初期設定モードから抜ける場合は、[時刻合せ] を3秒以上押します。

7. 電源OFF時設定

週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch

電源OFF中でも表示を行い、現在時刻表示や設定が可能です。

●電源OFF中は出力はOFFし、出力表示と電源表示も消灯します。
●電源OFF中に2分以上操作がなかった場合は、自動的に表示が消灯しますが、任意のキー(※)を1秒以上押すと、画面は復帰します。
※スライドスイッチ、ディップスイッチは除く
●電源OFF中は次動作表示はしません。
●電源OFF中は半自動操作はできません。

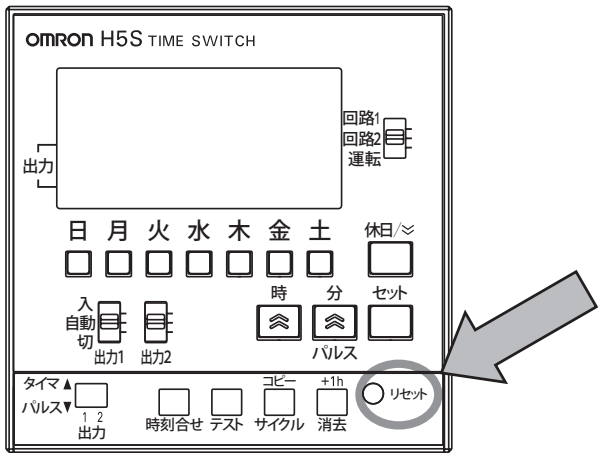


8. 本体のリセット

週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch

現在時刻を含むすべての設定をリセット（初期化）することができます。

●運転／設定モード他、いかなる状態においてもリセット可能です。



＜扉を開けた状態の絵＞

9. 時計精度について

週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch

＜標準タイプ＞・・・ 形式末尾に “–X” がない機種

時計精度は、25℃にて±15秒/月に調整して出荷しています。
しかし時計精度は温度の影響を受けるので、温度が高くなっても
低くなっても精度が悪くなり、例えば周囲温度が50℃や0℃以下で
使用した場合は、60秒/月以上のずれを生じる場合があります。

＜温度補償タイプ＞・・・ 形式末尾に “–X” がある機種

温度が変動しても時計精度を安定させる回路を搭載していますので、
下記のように広い温度範囲で高い時計精度を確保しています。
　±15秒/月・・・周囲温度-10～45℃
　±20秒/月・・・周囲温度 45～55℃

10. 表示キャラクタについて

週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch

運転モード、プログラム設定モードにおける各種操作にて、
以下のキャラクタがでてくる事があります。

画面表示	読み方	意味	参照項
HdAY	HDAY (Holiday)	休日設定モード	5-1
tESt	TEST (Test)	テストモード	5-2
CLr	CLR (Clear)	クリア（消去）モード	4-9
StEP	STEP (Step)	ステップ単位のクリア（消去）	4-9
ALL	ALL (All)	すべてクリア（消去）	4-9
CoPY	COPY (Copy)	コピー設定モード	5-4
CHEC	CHEC (Check)	確認モード	5-3
HoUr	HOUR (Hour)	積算時間画面	6-1
Cnt	CNT (Count)	積算回数画面	6-1

11.トラブルシューティング

週間 2ch　年間 2ch　年間 4ch

◆自己診断機能について

異常が発生した場合下記の表示になります。

表示	内容	出力	復帰方法
E1	CPU異常	OFF	リセットを押す
E2	メモリ異常	OFF	リセットを押す

◆トラブルシューティング

「おかしい?」と思ったら、下記の確認をしてみてください。

故障?	確認内容	参考掲載項
電源を入れても動作しない	電源が入っていますか? 液晶表示左上の PW が点灯しているかどうか確認ください。	〈操作編〉2
設定通り動作しない	配線が正しく接続されていますか? 配線が正しいことを確認ください。	〈操作編〉2,3
	出力「入」「切」スイッチが「自動」になっていますか?	〈操作編〉2
	正しくプログラムが設定されていますか?	〈操作編〉4
	休日設定になっていませんか ?	〈操作編〉5-1
	半自動動作中になっていませんか ?	〈操作編〉5-8
	コピー動作していませんか ? (週間式のみ)	〈操作編〉5-4
	年間プログラムが入っていませんか ? (年間式のみ)	〈操作編〉4-6
	バンク(週間式のみ)、シーズン(年間式のみ)の設定が正しくされていますか?	〈操作編〉6-4 〈操作編〉6-5
出力「入」「切」スイッチを「入」にしてもONしない。	電源が入っていますか? 液晶表示左上の PW が点灯しているかどうか確認ください。	〈操作編〉2
時刻が進む、遅れる。	時間精度は温度の影響を受けます。時刻合せで現在時刻の修正を行ってください。	〈操作編〉9 〈操作編〉3
	タイムスイッチ本体をノイズの強い場所に設置していませんか? ノイズの強い場所では時刻が大きくずれることがありますので、ノイズ発生源から遠ざけてください。	—
表示が消えている	(1)タイムスイッチ本体に電源が供給されずに無操作の場合は、2分で表示が消えます。 (2)内蔵電池の寿命が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。	〈操作編〉7
表示がおかしい	(1)ノイズ・サージの影響が考えられます。ノイズ発生源から遠ざけてください。 (2)内蔵電池の寿命が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
液晶表示の一部分が黒くにじんでいる。	静電気による一時的なにじみです。しばらく経つとにじみは解消します。	—
設定値が保持されない	内蔵電池の寿命が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。	—

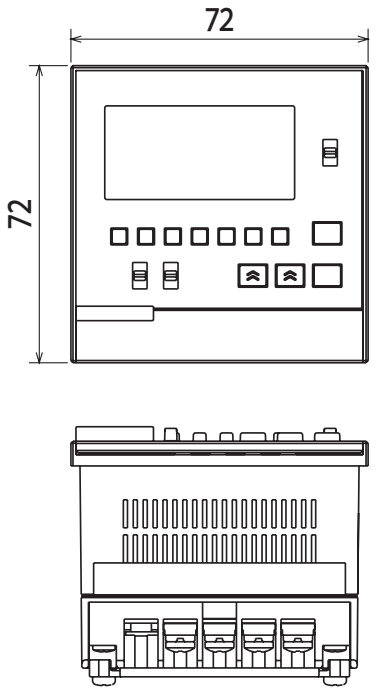
設　置　編

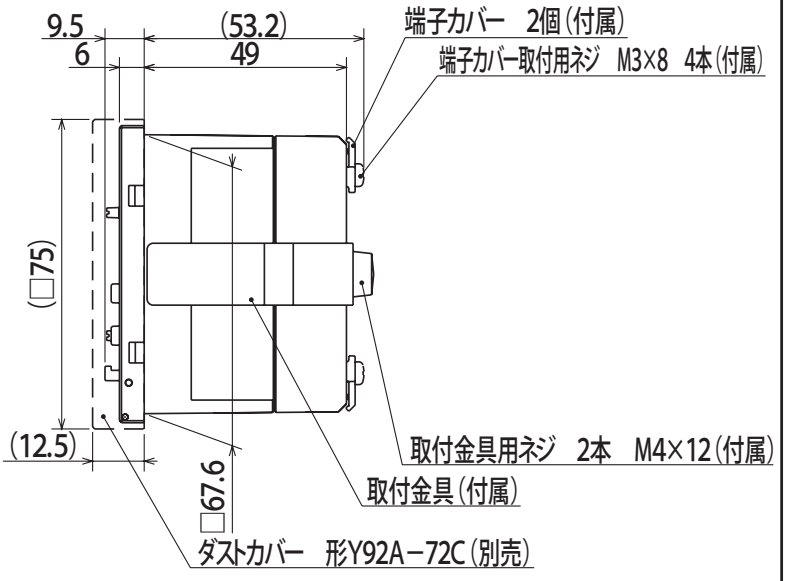
1. 寸法図と取付寸法

■ H5S-□A□（埋込取付タイプ）

単位:mm

●寸法図

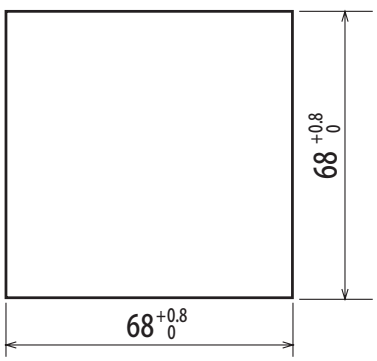


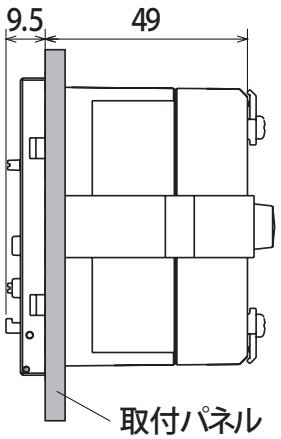


※端子ネジはM3.5です。
※本図は2chタイプですが、4chタイプも外形寸法は同一です。

●取付寸法

パネルカットサイズ
（DIN43700準拠）





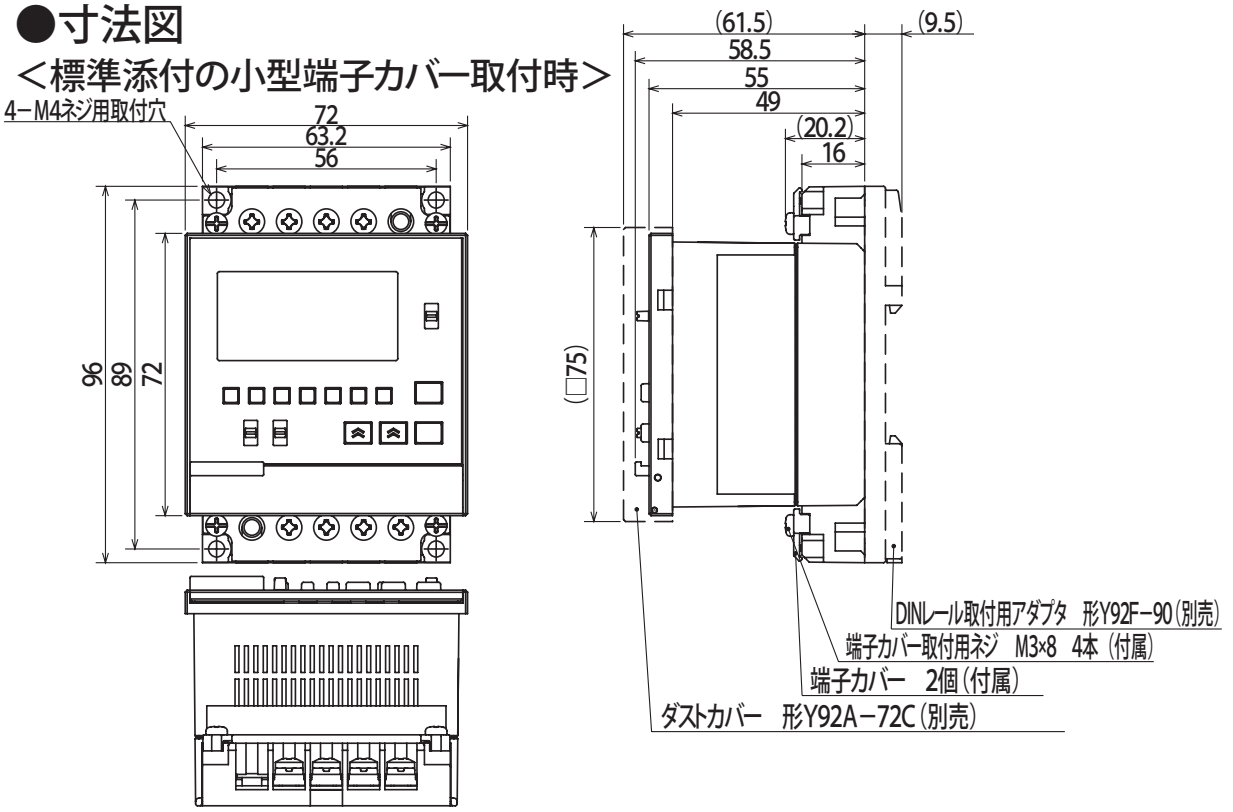
注. 取付パネルの板厚は1〜5mmが適当です。

■ H5S-□FA□（表面取付タイプ）

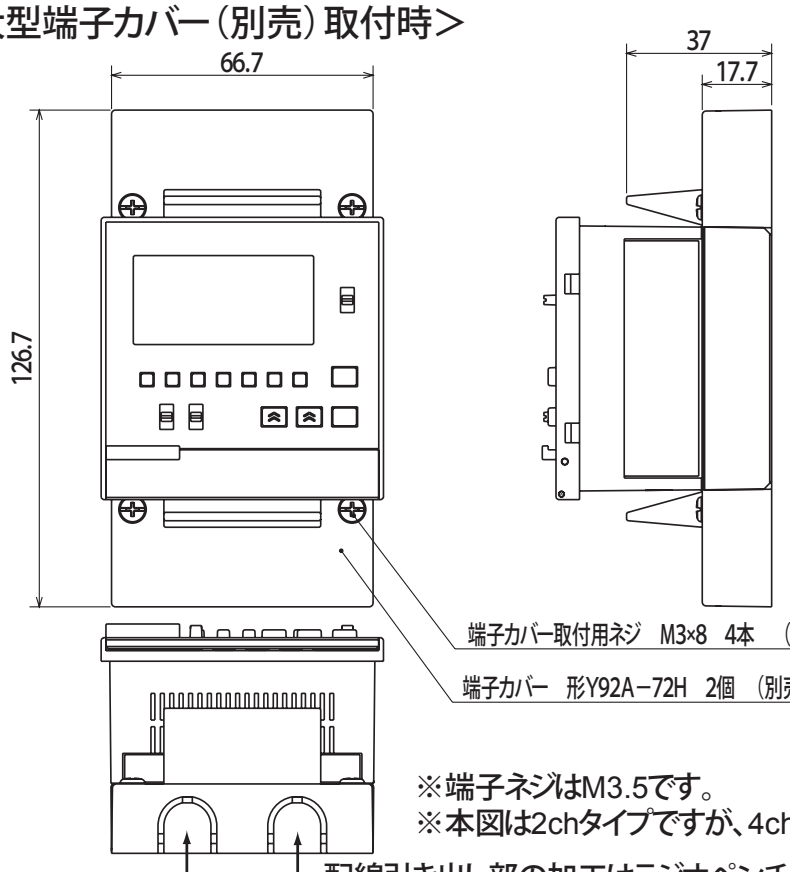
単位:mm

●寸法図

＜標準添付の小型端子カバー取付時＞



＜大型端子カバー（別売）取付時＞



製品を露出取付で使用する場合は、電気用品安全法上、必ず別売部品の大型端子カバー（形式Y92A-72H）を使用ください。

※端子ネジはM3.5です。
※本図は2chタイプですが、4chタイプも外形寸法は同一です。

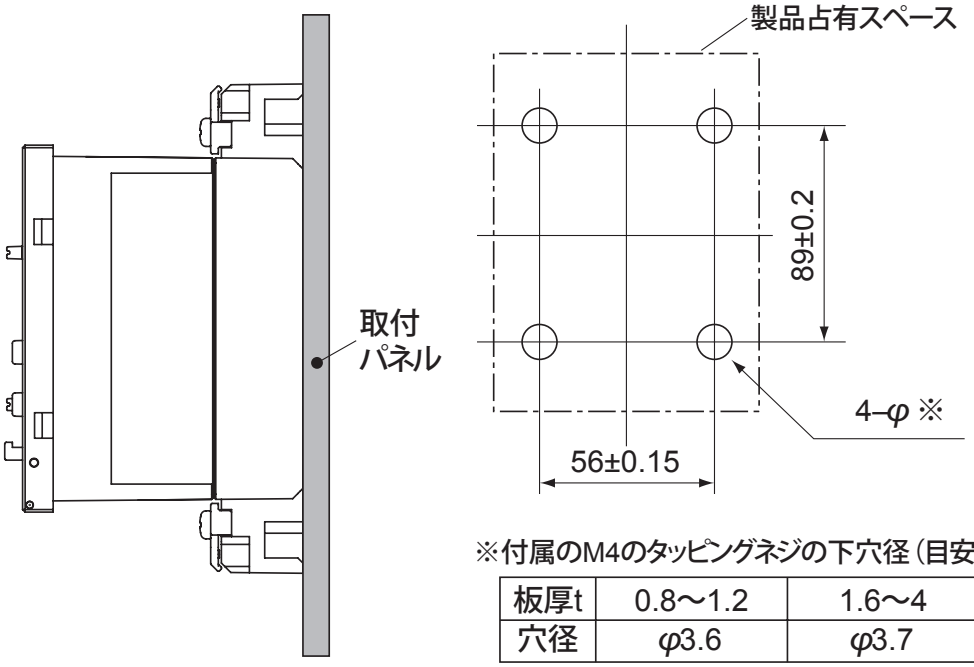
配線引き出し部の加工はラジオペンチなどの工具を使用してください。

■ H5S-□FA□（表面取付タイプ）

単位:mm

●取付寸法

＜表面取付時＞

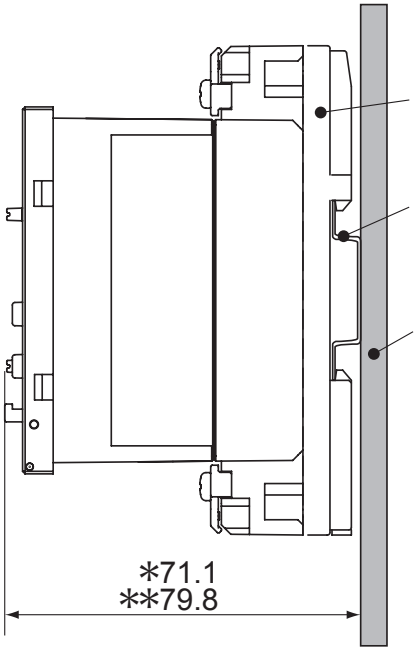


※付属のM4のタッピングネジの下穴径（目安）

板厚t	0.8～1.2	1.6～4
穴径	φ3.6	φ3.7

＜DINレール取付時＞

※別売のDINレール取付用アダプタ形Y92F-90が必要です。



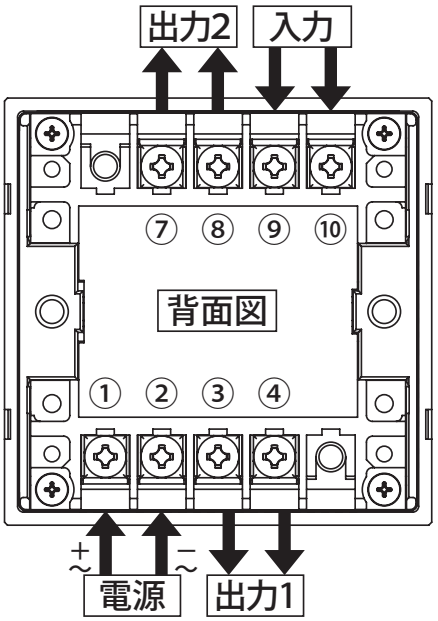
■適用DINレール
形PFP-50N, 形PFP-100N,
形PFP-100N2

＊ DINレールが形PFP-50N, 形PFP-100Nの場合
＊＊ DINレールが形PFP-100N2の場合

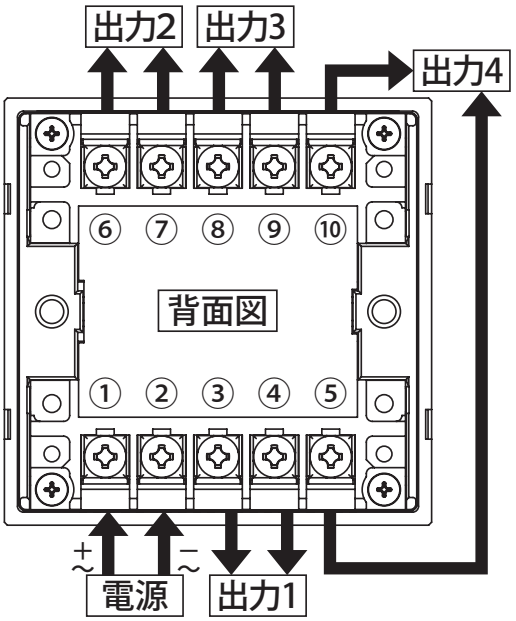
2. 接続部

● 埋込取付タイプ（H5S－□A□）

＜2chタイプ＞

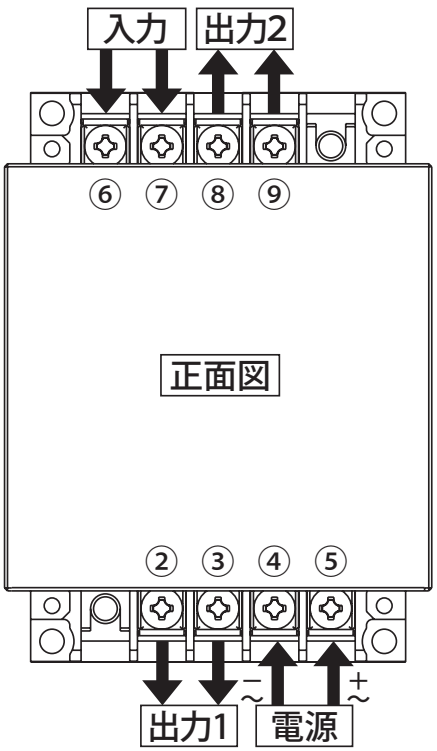


＜4chタイプ＞

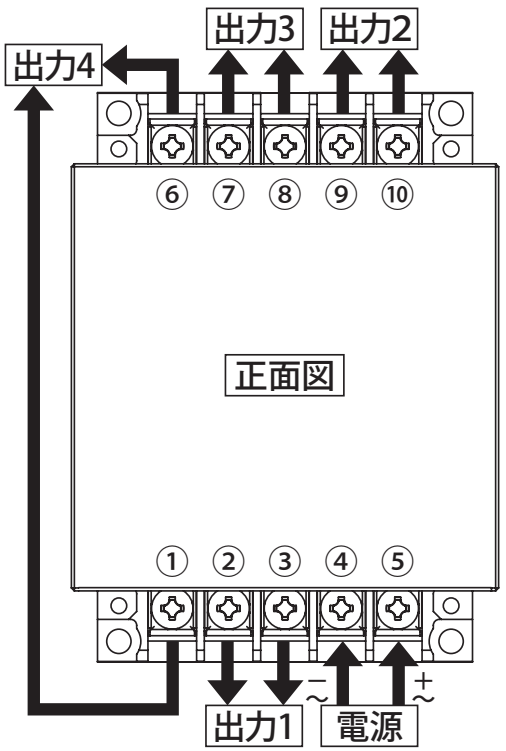


● 表面取付タイプ（H5S－□FA□）

＜2chタイプ＞



＜4chタイプ＞



3. 配線方法

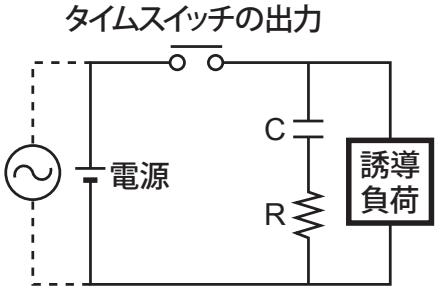
配線の前に以下の内容をご確認のうえ、作業を行ってください。

＜出力について＞

●タイムスイッチの出力は無電圧接点出力です。
負荷を駆動するためには外部から負荷へ供給する電源が必要です。
次のページを参考に配線をお願します。

●2chタイプと4chタイプで出力接点定格が異なります。（☞ 設置編4, 5項）

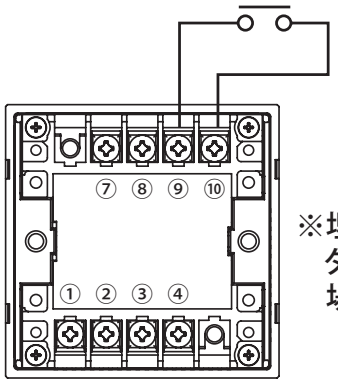
●誘導性の負荷（コイルなど）を駆動する場合、接点（タイムスイッチの出力）の開閉時にサージ電圧が発生し、場合によってはタイムスイッチや同一ラインに接続された他の機器を破壊することがあります。
以下の図を参考にサージ吸収素子（C＋R）を使用してください。



C, Rの目安は以下のとおりです。
C:接点電流1Aに対し0.5～1μF
R:接点電圧1Vに対し0.5～1Ω
・Cの耐電圧は電源電圧に応じたものを、AC回路で使用の場合のCはAC用を使用下さい。
なお、負荷の性質や特性のばらつきなどにより、負荷の復帰が遅れることが問題となることがありますので実機による確認を充分行ってください。

＜入力について＞※2chタイプのみ

●入力は、スイッチまたはリレーなどの有接点をご使用ください。
（5V0.1mA程度の開閉となるため、接触信頼性の高い接点のものを使用してください。）



※埋込取付タイプの場合

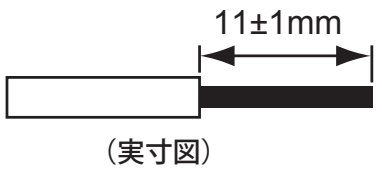
＜配線について＞

●端子の適正締付トルクは0.98～1.17N・mです。

●圧着端子を使用する場合は1つの端子に2個までとしてください。

●1端子あたり2本までは締め付けられますが、その場合、2本は同じ線種を使用してください。

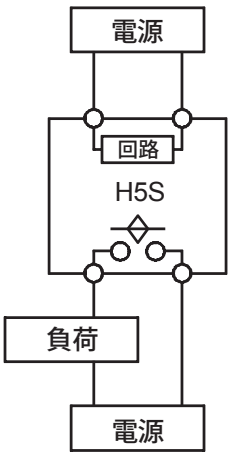
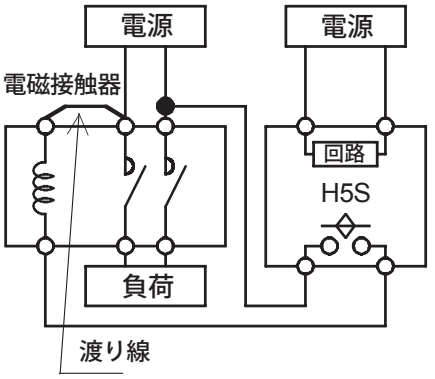
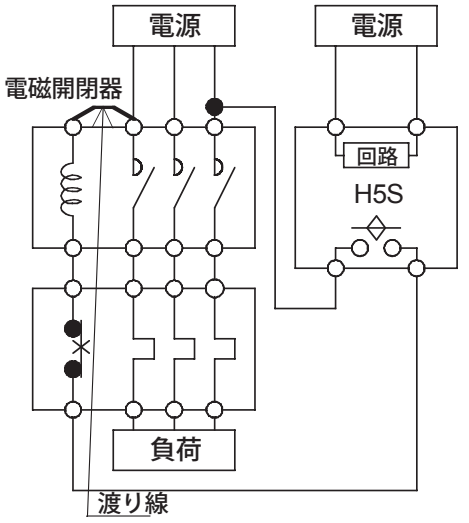
●単線を使用する場合は、右図のように被覆をむいて（除去して）ください。



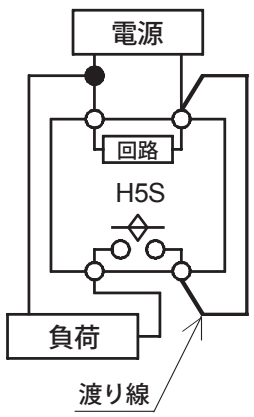
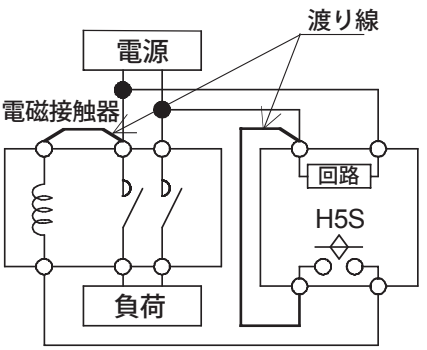
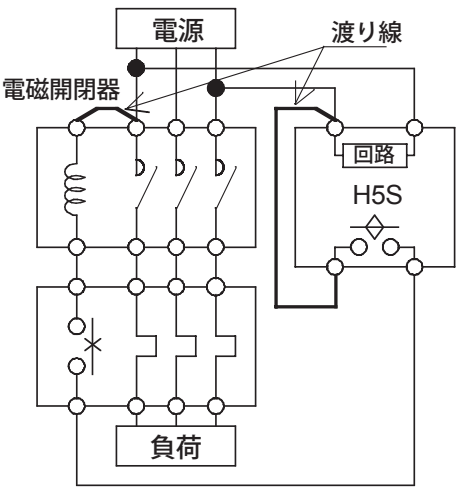
（実寸図）

●適用電線は以下のものを使用ください。
600Vビニル絶縁電線　AWG22～14（断面積0.326～2.081mm^2）
単線、より線
銅

● タイムスイッチの電源と負荷の電源が別の場合

タイムスイッチで直接制御する場合	負荷が定格を超える場合、負荷に三相電源をする場合 負荷がタイムスイッチの定格を超える場合や三相電源でのご使用の場合は電磁接触器、電磁開閉器の併用を行なってください。	
	単　相	三　相
		

● タイムスイッチの電源と負荷の電源が共通の場合

タイムスイッチで直接制御する場合	負荷が定格を超える場合、負荷に三相電源をする場合 負荷がタイムスイッチの定格を超える場合や三相電源でのご使用の場合は電磁接触器、電磁開閉器の併用を行なってください。	
	単　相	三　相
		

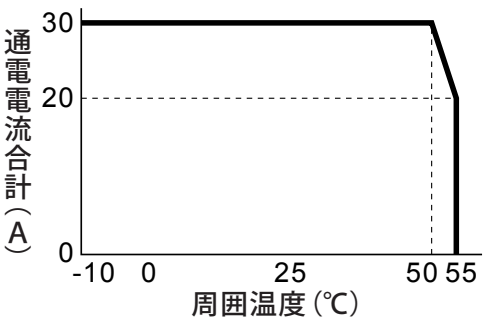
■推奨ヒューズ　　T2A　AC250V　タイムラグヒューズ　低遮断容量

4. 定格・性能

			週間2ch	年間2ch	年間4ch
			H5S-WA2(D) H5S-WFA2(D)	H5S-YA2(D)-X H5S-YFA2(D)-X	H5S-YA4(D)-X H5S-YFA4(D)-X
定格電圧			AC100-240V　50/60Hz共用・・・形式に「D」がつかないタイプ DC24V・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・形式に「D」がつくタイプ		
許容電圧変動範囲			85～110%（AC仕様） 85～120%（DC仕様）		
消費電力（*1）			約2.9VA（AC仕様）	約3.2VA（AC仕様）	約3.5VA（AC仕様）
			約0.8W（DC仕様）	約0.9W（DC仕様）	約1.0W（DC仕様）
制御出力	回路数		2回路独立（2a）		4回路独立（4a）
	回路		電源回路と別回路（無電圧）		
	容量	抵抗負荷（cosφ=1）	AC250V 15A（*2）		AC250V 3A
		誘導負荷	AC250V 10A（cosφ=0.7）		AC250V 2A（cosφ=0.4）
使用周囲温度			－10～55℃（ただし氷結・結露しないこと）		
使用周囲湿度			25～85%（ただし氷結・結露しないこと）		
保存温度			－25～65℃（ただし氷結・結露しないこと）		
総合誤差（*3）			±0.01%±0.05s以下		
周期誤差（*4）			月差±15s（25℃）	月差±15s（－10～45℃）	
停電補償時間			連続5年以上（25℃）		
質量			約200g		
動作	周期時間		1週間	1年間（2099年までのカレンダーを内蔵）	
	最小設定範囲		1分		
	パルス幅範囲		1～59秒（1秒単位）、1～60分（1分単位）		
	週間プログラム（*5）		40ステップ/ch	48ステップ/ch（*6） 24ステップ/ch（*7）	48ステップ/ch（*6） 12ステップ/ch（*7）
	年間プログラム設定回数		－	16ステップ（4回）/ch	16ステップ（4回）/ch
	年間休日設定回数		－	16回	16回
設置環境			汚染度2、過電圧カテゴリーⅡ		
標高			2000m以下		
振動	耐久		10～55Hz 片振幅0.75mm 3方向 各2時間		
	誤動作		10-55Hz 片振幅0.25mm 3方向 各10分		
衝撃	耐久		300m/s^2 3軸各方向 各3回		
	誤動作		100m/s^2 3軸各方向 各3回		
安全規格			cURus UL508/CSA C22.2 No.14		
			EN60730-2-7		
			VDE0106/part100		
			電気用品安全法		

*1 AC仕様はAC264V 60Hz時、DC仕様はDC28.8V時

*2 1chあたり15Aの通電が可能ですが、2ch合計の通電電流は周囲温度により右図のようにディレーティングがあります。



*3 設定間隔に対する値です。尚、セット誤差、動作時間のばらつき、温度／電圧の影響を含みます。

*4 周期誤差は操作編の「9.時計精度について」を参照ください。

*5 週間プログラムのステップ数は、動作により下記のようにステップ数を使います。
- タイマ動作・・・2ステップ
- パルス動作・・・1ステップ
- サイクル動作・・・4ステップ

*6 シーズン設定（☞ 操作編 6.5項）未使用時

*7 シーズン設定（☞ 操作編 6.5項）使用時

5. 出力（内蔵リレー）の寿命について

＜2chタイプ＞

●機械的寿命（at 20℃）　10万回以上

●電気的寿命（at 20℃）

・5万回以上（抵抗負荷　AC250V 15A）

・5万回以上（抵抗負荷　DC30V 10A）

・5万回以上（誘導負荷　AC250V 10A, cosφ=0.7）

・5万回以上（モータ負荷　AC250V 1HP）

・5万回以上（ランプ負荷　AC100V 100W）

・1万回以上（ランプ負荷　AC100V 300W）

＜4chタイプ＞

●機械的寿命（at 20℃）　10万回以上

●電気的寿命（at 20℃）

・5万回以上（抵抗負荷　AC250V 3A）

・5万回以上（抵抗負荷　DC30V 3A）

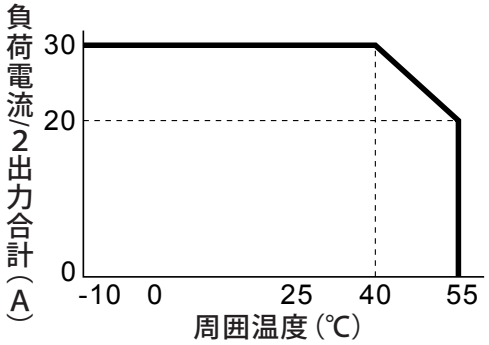
6. EN／IEC規格について

■電源、入力－出力間は基礎絶縁です。
出力端子は露出した充電部を持たない装置に接続してください。
出力端子は最高使用電圧に適した基礎絶縁のされている装置に接続してください。

■配線に際しては絶縁スリーブ付の圧着端子を使用してください。

■表面取りつけタイプ（形H5S-□FA□）は必ず盤内でご使用ください。

■2chタイプの製品周囲温度と負荷電流の関係は下記の範囲となります。



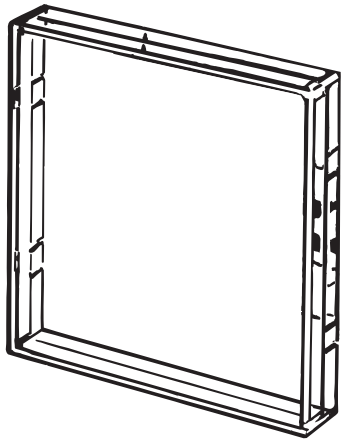
ただし、温度定格105℃以上の電線を使用する場合は4項「定格・性能」欄の
ディレーティンググラフを参照下さい。

■制御方式　:電子式
自動動作の種類　:週間式　Type1BSTU
　年間式　Type2BSTU
保護クラス　:クラス0
定格インパルス電圧　:AC2500V
ボールプレッシャーテスト温度　:125℃

7. アクセサリ、補修部品

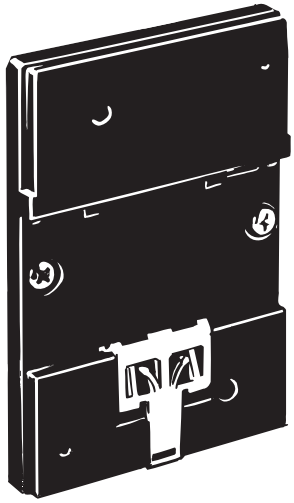
■ダストカバー

形Y92A-72C



■DINレール取付用ベース

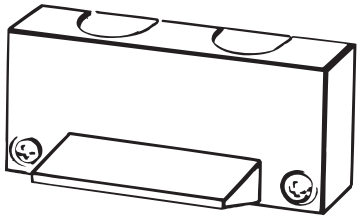
形Y92F-90



※H5S-□FA□（表面取付タイプ）のみ取付可能

■大型端子カバー

形Y92A-72H（2個が1セットになっています）



※H5S-□FA□（表面取付タイプ）のみ取付可能

8. 設定内容の記録（メモ）

拡大コピー等して、大切な設定内容の記録にご利用ください。

週間タイマ動作

出力No.＿＿＿＿　バンク:＿＿＿＿

	ON時刻	OFF時刻
例	日(月)(火)(水)(木)(金)土	日(月)(火)(水)(木)(金)土
	10:30	19:00
	日月火水木金土	日月火水木金土
	:	:
	日月火水木金土	日月火水木金土
	:	:
	日月火水木金土	日月火水木金土
	:	:
	日月火水木金土	日月火水木金土
	:	:
	日月火水木金土	日月火水木金土
	:	:
	日月火水木金土	日月火水木金土
	:	:
	日月火水木金土	日月火水木金土
	:	:
	日月火水木金土	日月火水木金土
	:	:
	日月火水木金土	日月火水木金土
	:	:
	日月火水木金土	日月火水木金土
	:	:
	日月火水木金土	日月火水木金土
	:	:
	日月火水木金土	日月火水木金土
	:	:

週間パルス動作

出力No.＿＿＿＿　バンク:＿＿＿＿

	ON時刻	パルス幅
例	日(月)(火)(水)(木)(金)土	30 秒
	8:30	
	日月火水木金土	
	:	
	日月火水木金土	
	:	
	日月火水木金土	
	:	
	日月火水木金土	
	:	
	日月火水木金土	
	:	
	日月火水木金土	
	:	
	日月火水木金土	
	:	
	日月火水木金土	
	:	
	日月火水木金土	
	:	
	日月火水木金土	
	:	
	日月火水木金土	
	:	

週間サイクル動作

出力No.＿＿＿＿　バンク:＿＿＿＿

	スタート時刻	ストップ時刻	ON幅	OFF幅
例	日(月)(火)(水)(木)(金)土	日(月)(火)(水)(木)(金)土	5 分	25 分
	10:30	19:00		
	日月火水木金土	日月火水木金土		
	:	:		
	日月火水木金土	日月火水木金土		
	:	:		
	日月火水木金土	日月火水木金土		
	:	:		
	日月火水木金土	日月火水木金土		
	:	:		

年間休日設定

	開始日	終了日
例	06年12月28日	07年 1月 4日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日
	年 月 日	年 月 日

シーズン期間設定

	開始日	終了日
A	月 日	月 日
B	月 日	月 日
C	月 日	月 日
D	月 日	月 日

年間タイマ動作

出力No.

	開始日	終了日	ON時刻	OFF時刻
例	--年 7月20日	--年 8月31日	8:00	19:00
	年 月 日	年 月 日	:	:
	年 月 日	年 月 日	:	:
	年 月 日	年 月 日	:	:
	年 月 日	年 月 日	:	:

年間パルス動作

出力No.

	開始日	終了日	ON時刻	パルス幅
例	--年12月24日	--年12月24日	21:00	3 分
	年 月 日	年 月 日	:	
	年 月 日	年 月 日	:	
	年 月 日	年 月 日	:	
	年 月 日	年 月 日	:	

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

●お問い合わせ先

カスタマサポートセンタ

フリーコール **0120-919-066**（クイック／オムロン）

携帯電話・PHSなどではご利用いただけませんので、その場合は下記電話番号へおかけください。

電話 **055-982-5015**（通話料がかかります）

【技術のお問い合わせ時間】

■営業時間：8:00～21:00　■営 業 日：365日

■上記フリーコール以外の制御機器の技術窓口：

電話 **055-982-5000**（通話料がかかります）

【営業のお問い合わせ時間】

■営業時間：9:00～12:00/13:00～17:30（土・日・祝祭日は休業）

■営 業 日：土・日・祝祭日/春期・夏期・年末年始休暇を除く

●FAXによるお問い合わせは下記をご利用ください。

カスタマサポートセンタ　お客様相談室　FAX 055-982-5051

●その他のお問い合わせ先

納期・価格・修理・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、
または貴社担当オムロン営業員にご相談ください。

オムロン制御機器の最新情報をご覧いただけます。

www.fa.omron.co.jp

緊急時のご購入にもご利用ください。

© OMRON Corporation 2007　All Rights Reserved.

お断りなく仕様などを変更することがありますのでご了承ください